

イニシャル

# 頭文字K



18禁

Dish up

イニシャル

# 頭文字K

18

禁



Dish up

# C O N T E N T S

	イラスト (小休憩)	3
	目次	4
Vol.25	教師の物理的ドリフト	5
Vol.8	ホットた相手が悪いかも?	21
Vol.14	そして作者がただボケる	25
	あとがき	48
	奥付	50

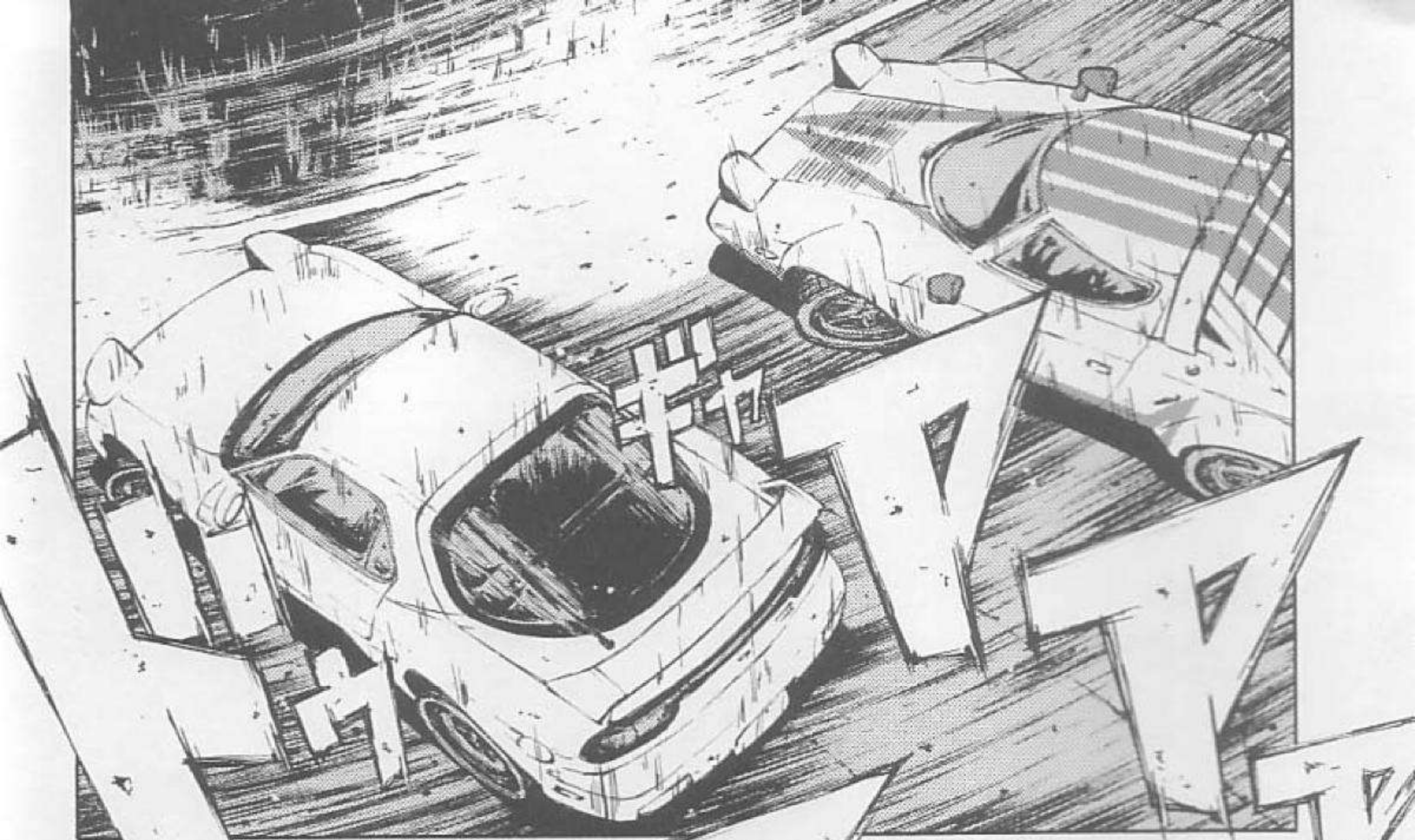


イニシャル  
**頭文字K**



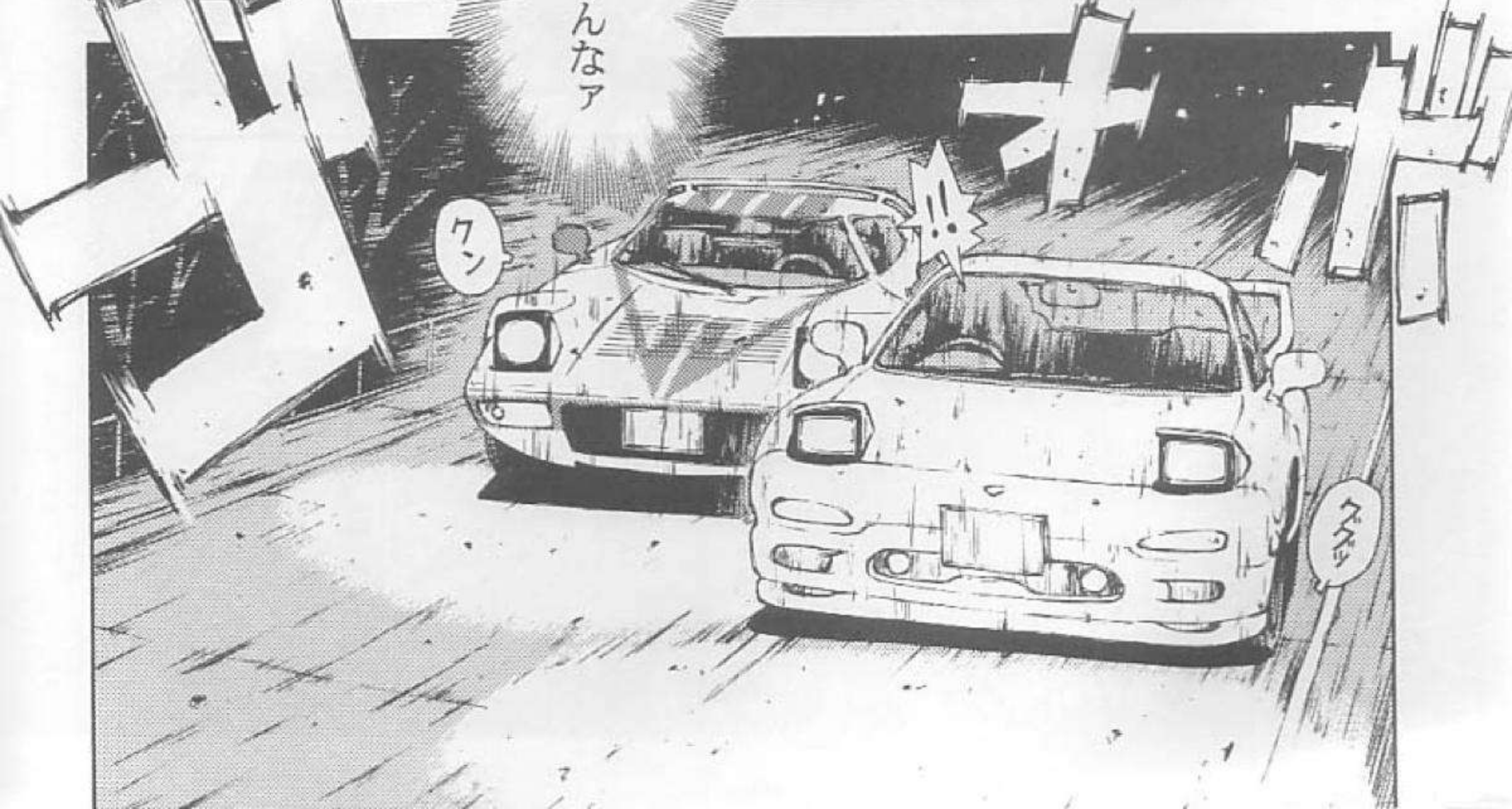
何者だ!?

うちの  
チームのクルマ  
じゃねえ:



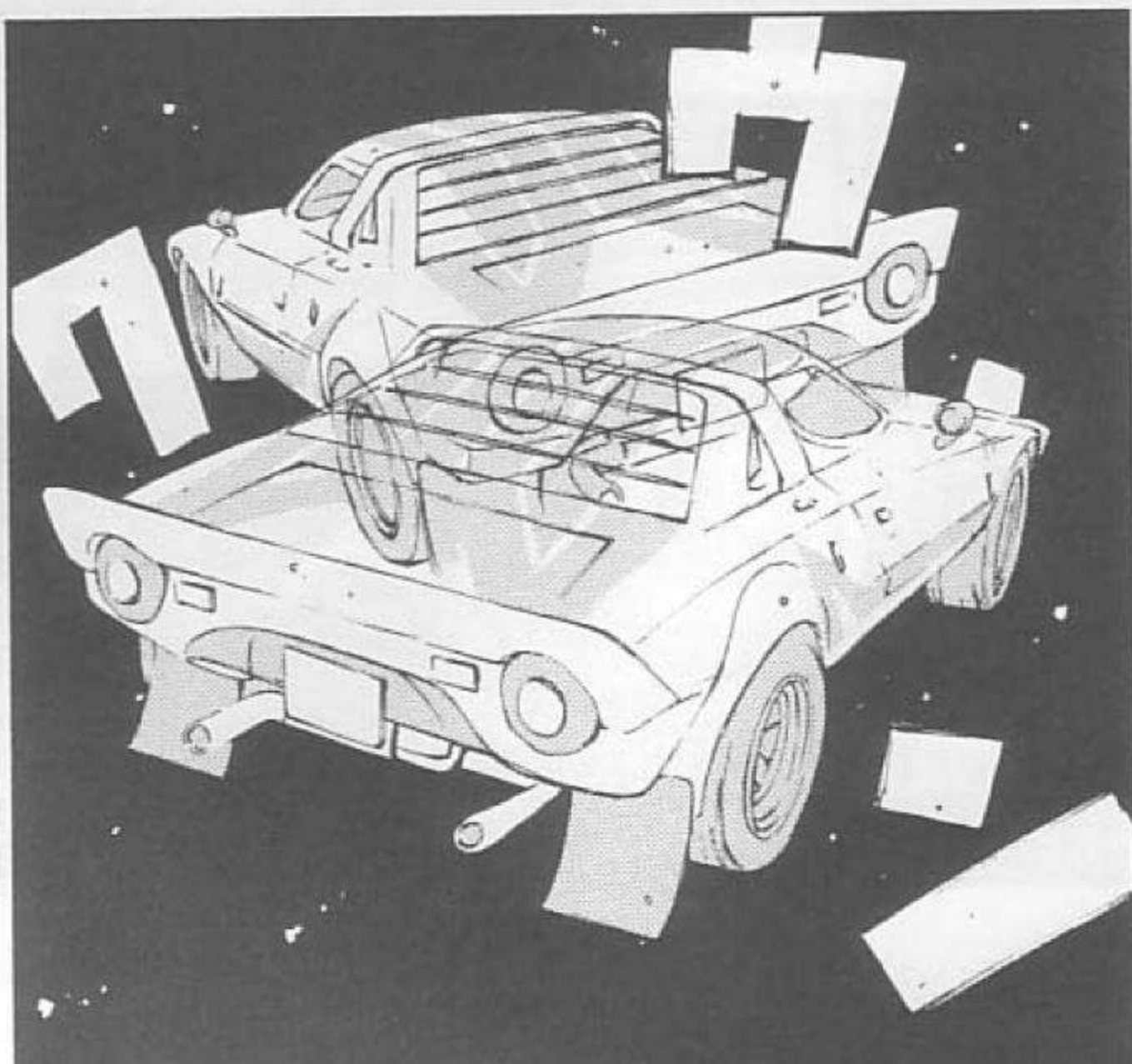
ランチア  
ストラトスだとオ!?

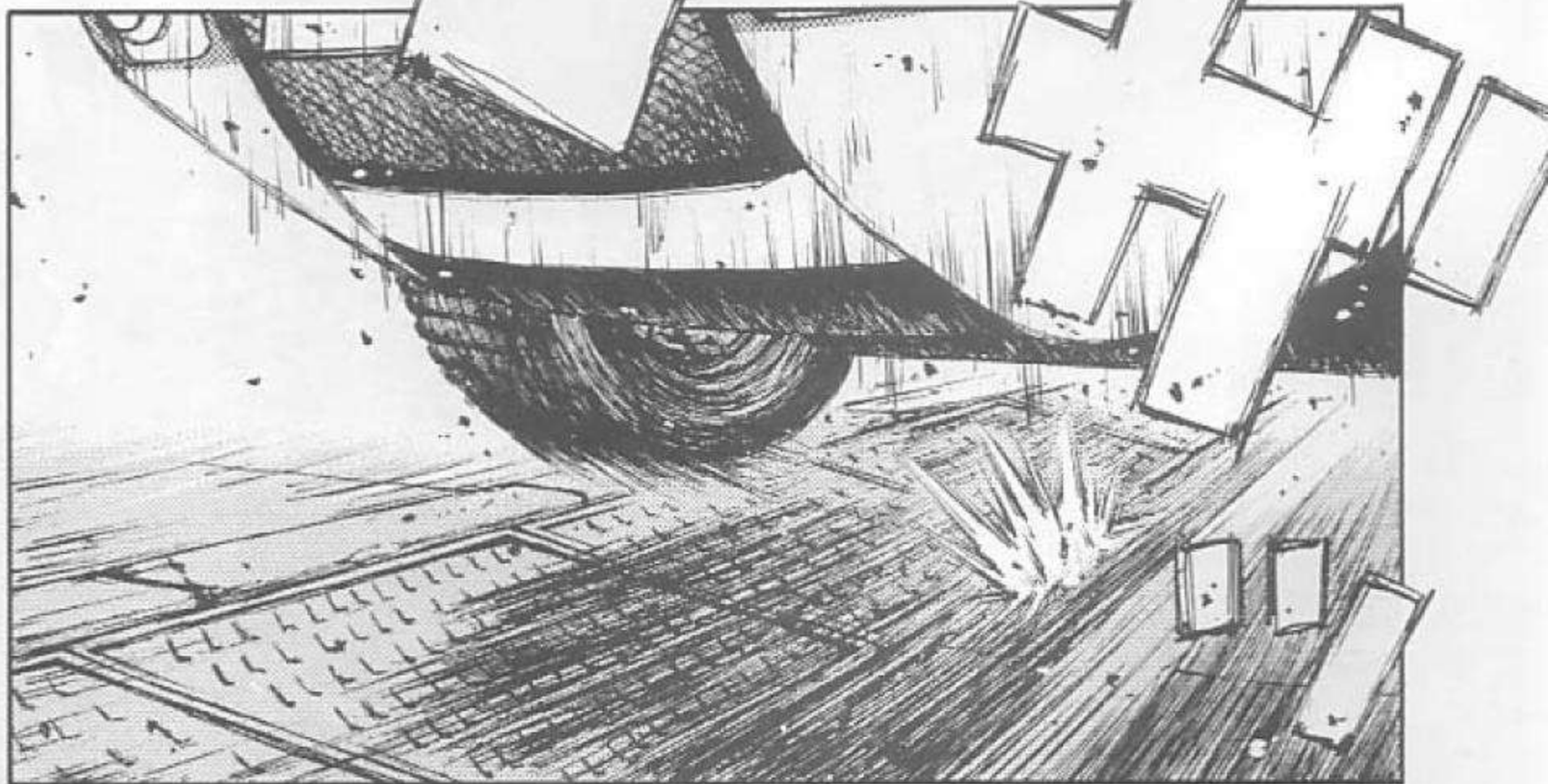
ふざけんなア

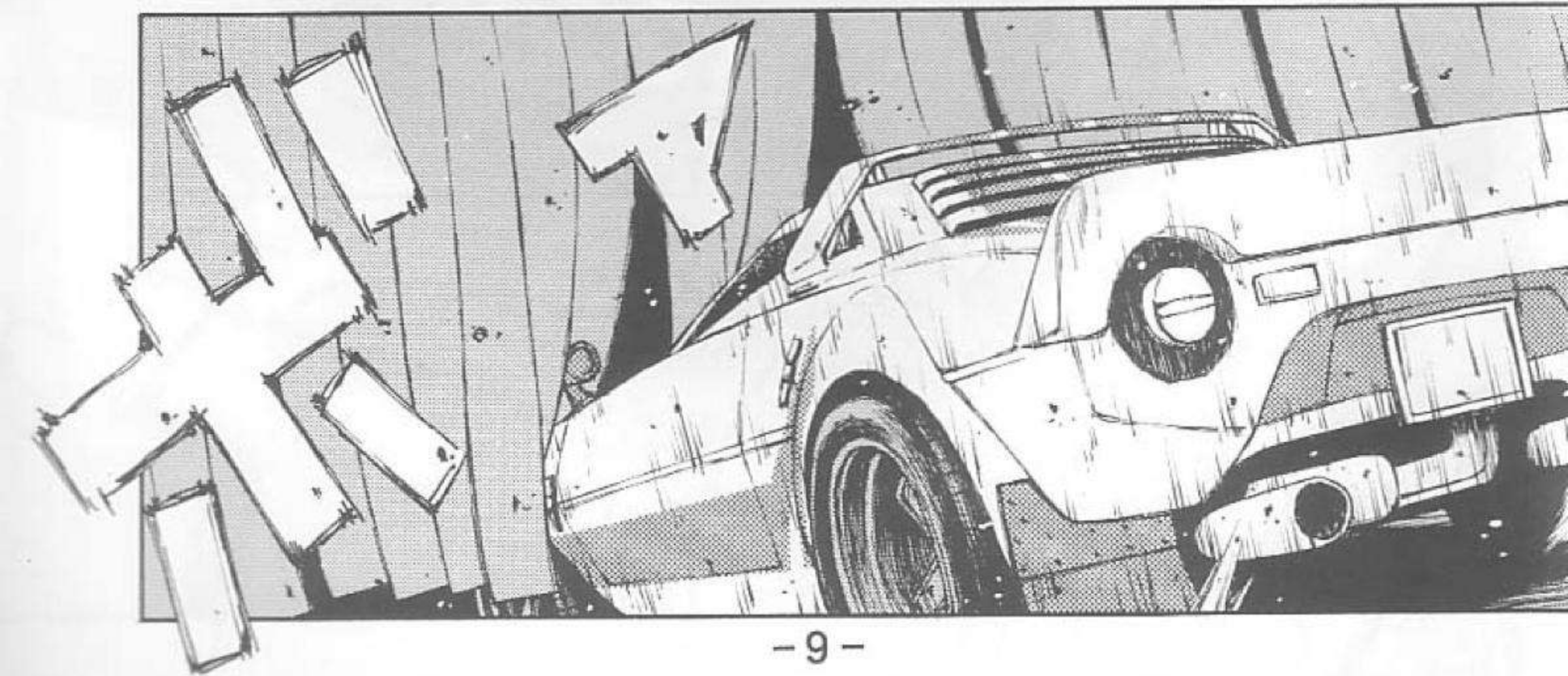


クン

クッ





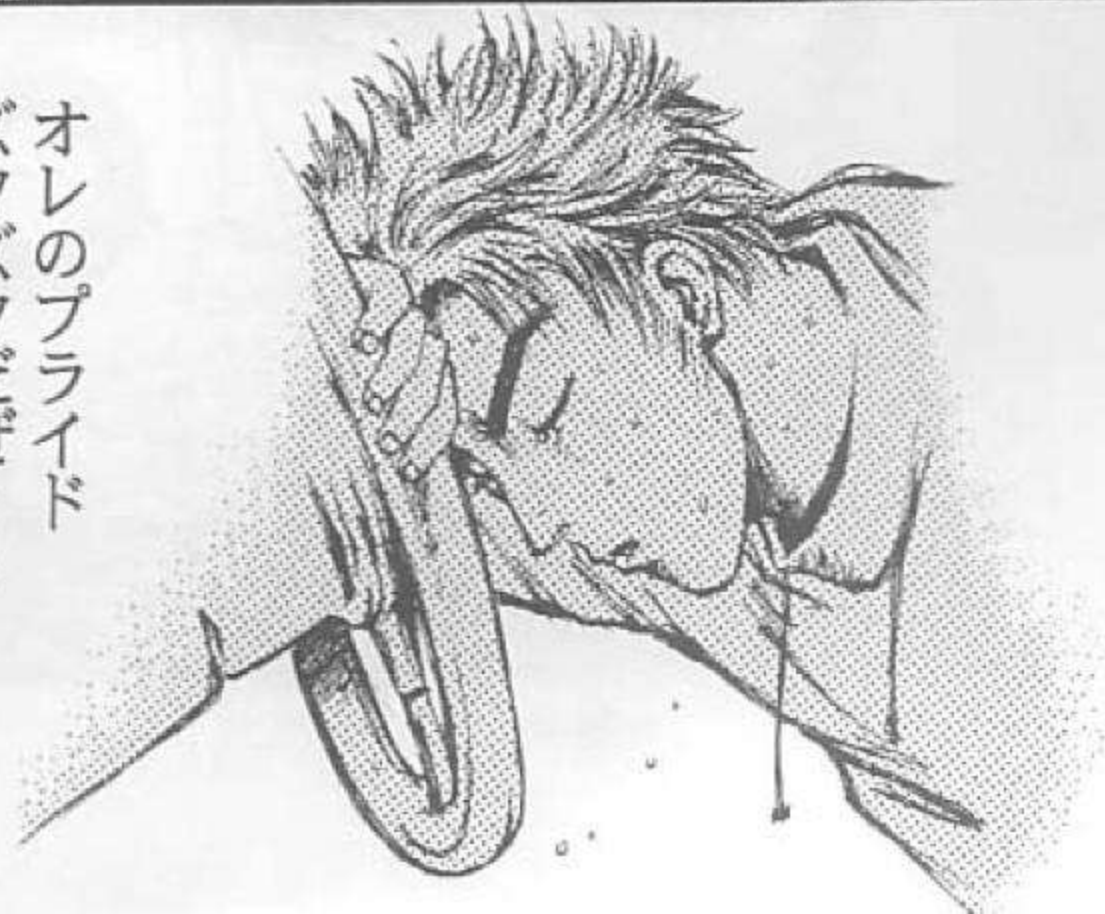




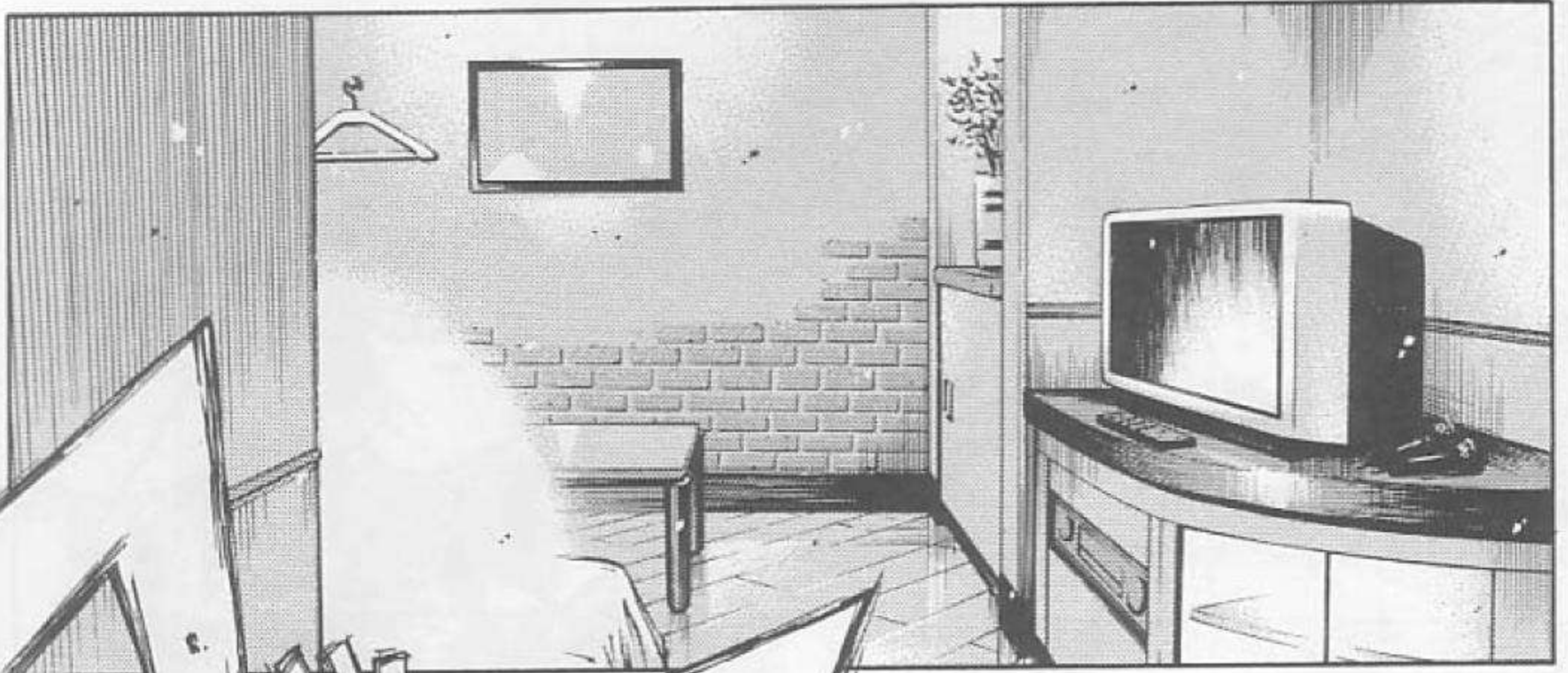


ななな：  
な：に：イ！？

オレのプライド  
ズタズタだぜ……



信じられん





まだ出てる

すじ..



本当に  
スゴいわねえ

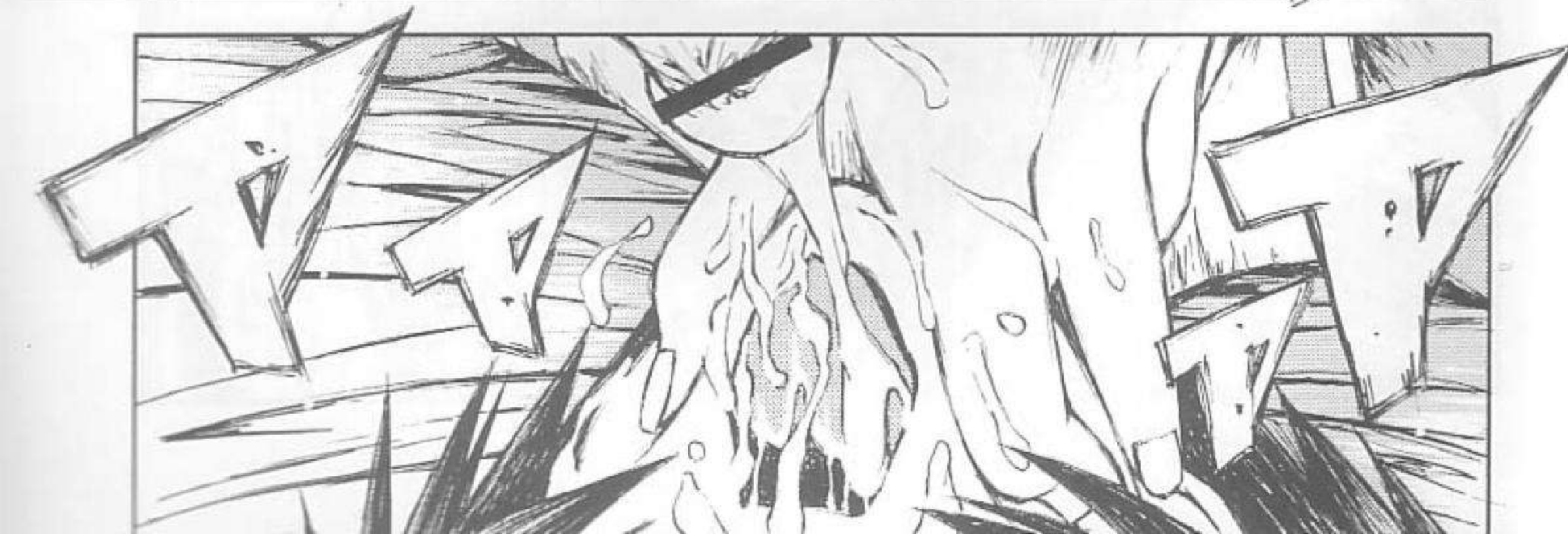
全然  
勢いが止まらない  
じゃないコレ



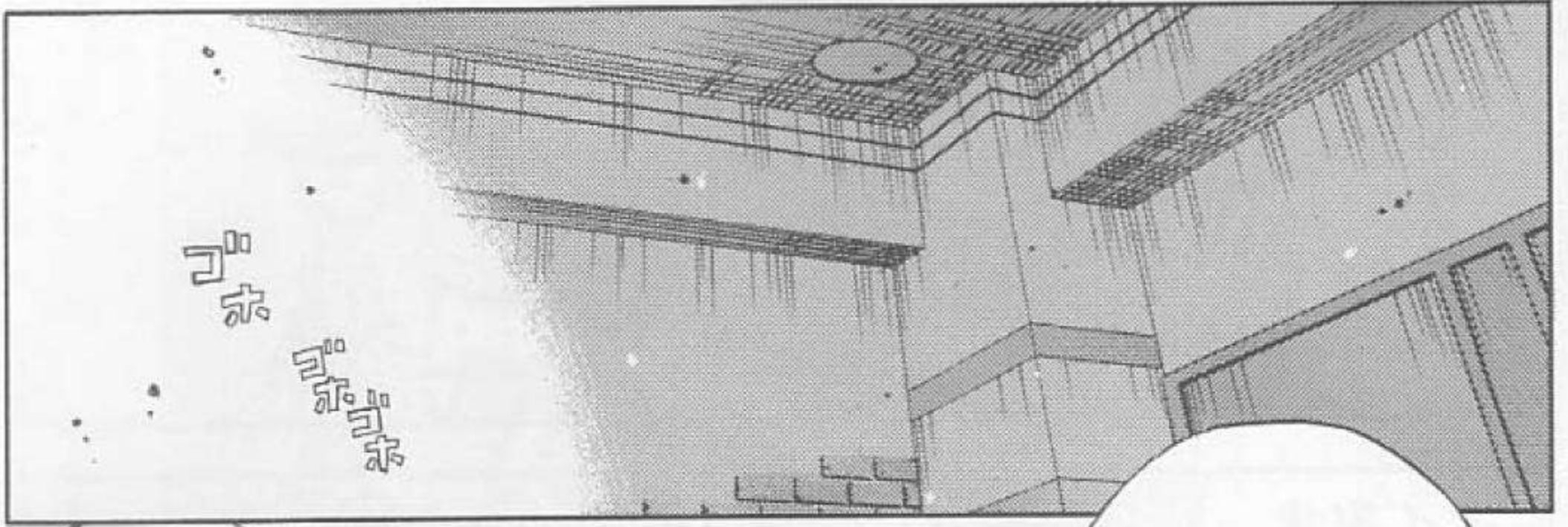
こらこら  
なに  
顔を背けてんのよっ



もったいない  
でしょ…ほらっ  
しっかり口も  
開けなさい!!







一度にこれだけ  
大量射精できるなんて  
鎧衣：アンタ  
相当イケてるわよ

プラス  
この濃さ…

今夜は  
楽しめそうね



何で  
こんなこと…

イベントに  
参加するだけって  
言ってたのに



始めは  
そのつもりだったけど：  
カメラ小僧に  
写真を撮られてる  
鎧衣見てたら  
ついムラムラっと：

まあ：それに：  
家に帰るまでが  
イベントだって  
よく言うじゃない！！



さあ：  
なぜでしょう！？

ヒョ  
クツ



えっ？：ボク  
今しゃべってないのに  
なんで！？

鎧衣は絶望した  
「ダメだ：逃げられない」  
と、



そして瞬時に  
身を任せることによつて  
楽になる道を  
選んだのである

それは数多くの修羅場を  
くぐり抜けてきた  
鎧衣だからこそできる  
ハイテクニックだった!!







またこんな  
堅くてパンパンに  
してくれるなんて  
うれしいわ!!

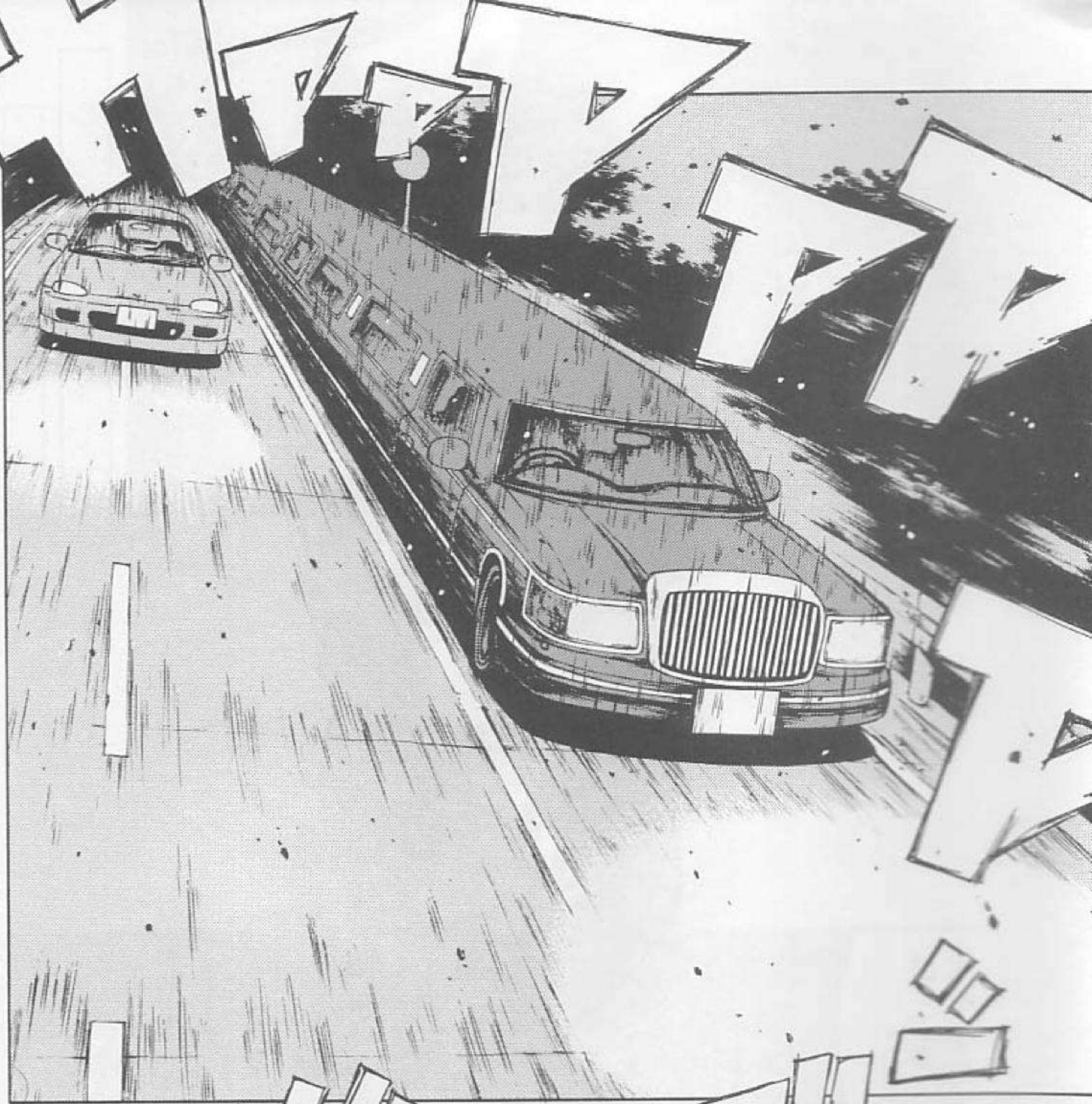
今度は  
私にもたくさん  
かけてちょうだい!!





▶ Vol.8 ホット相手が悪いかも？



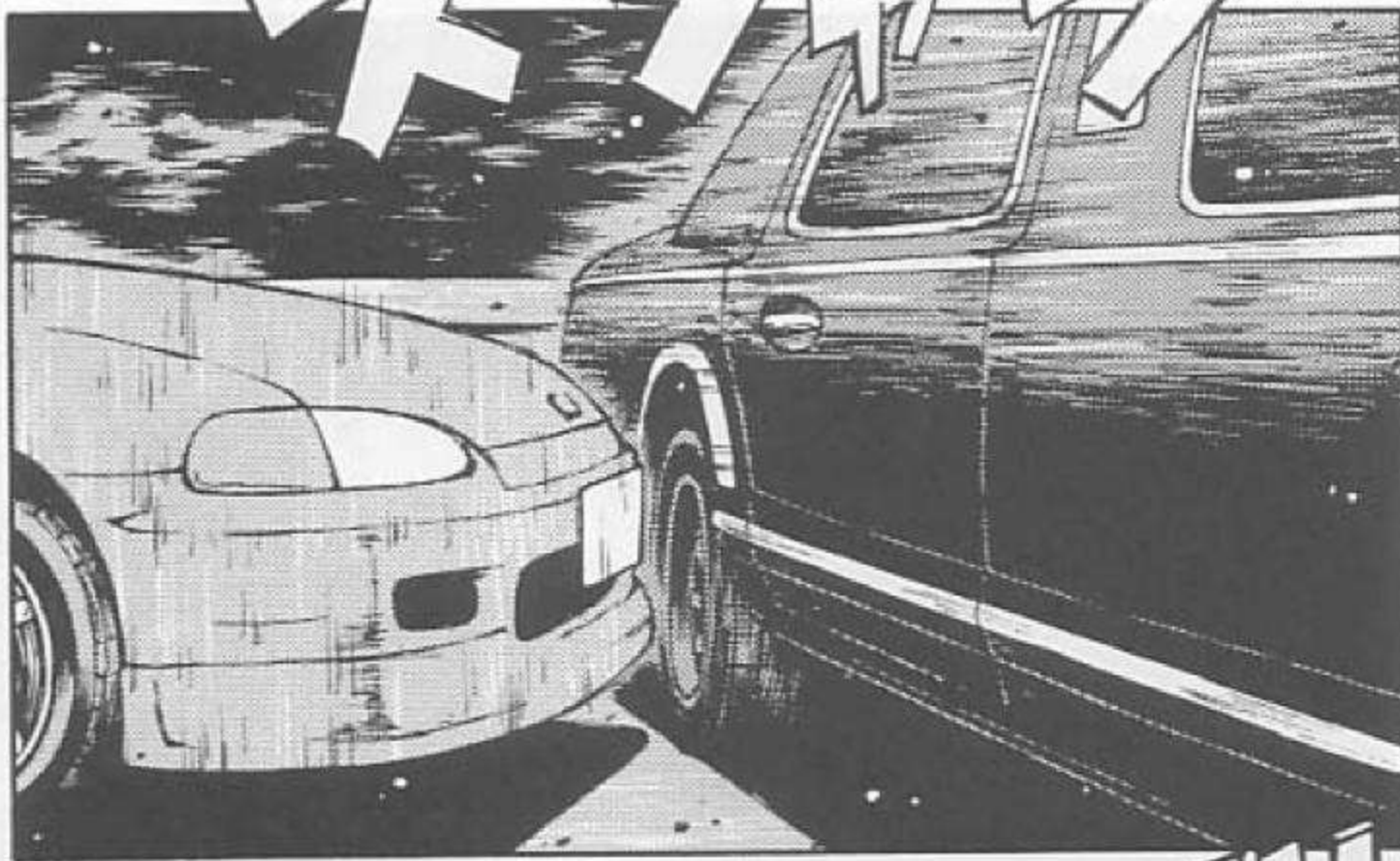


これって確か  
ガムテープデスマッチ  
だったよな!?

曲がつてるだけでも  
納得いかねえのに  
軽くぶつけたくらいじゃ  
びくともしねえ

このまま負ける  
わけにはいかねえ!  
今度は頭にデカイの  
くらわしてやる!!





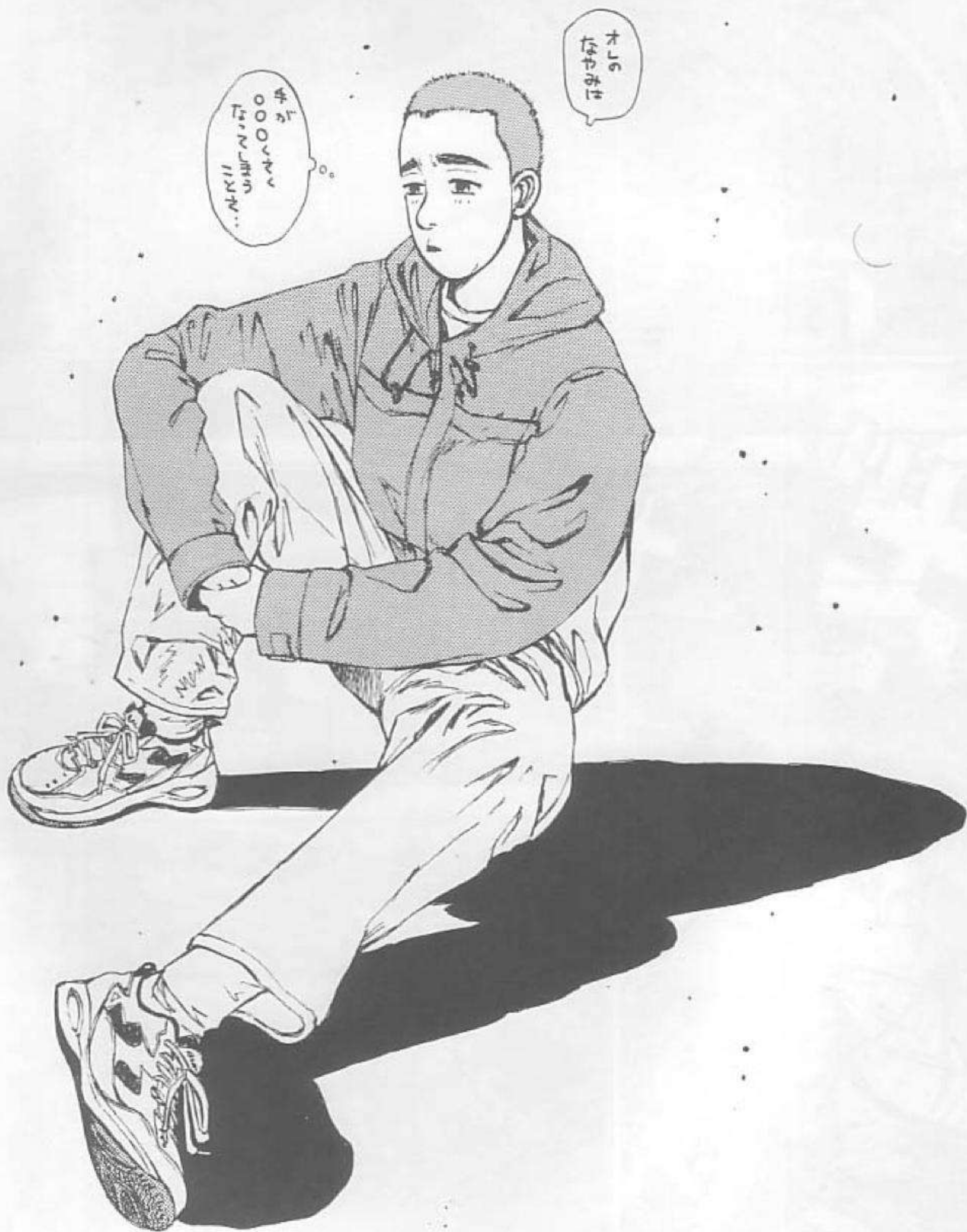
なにっ!?



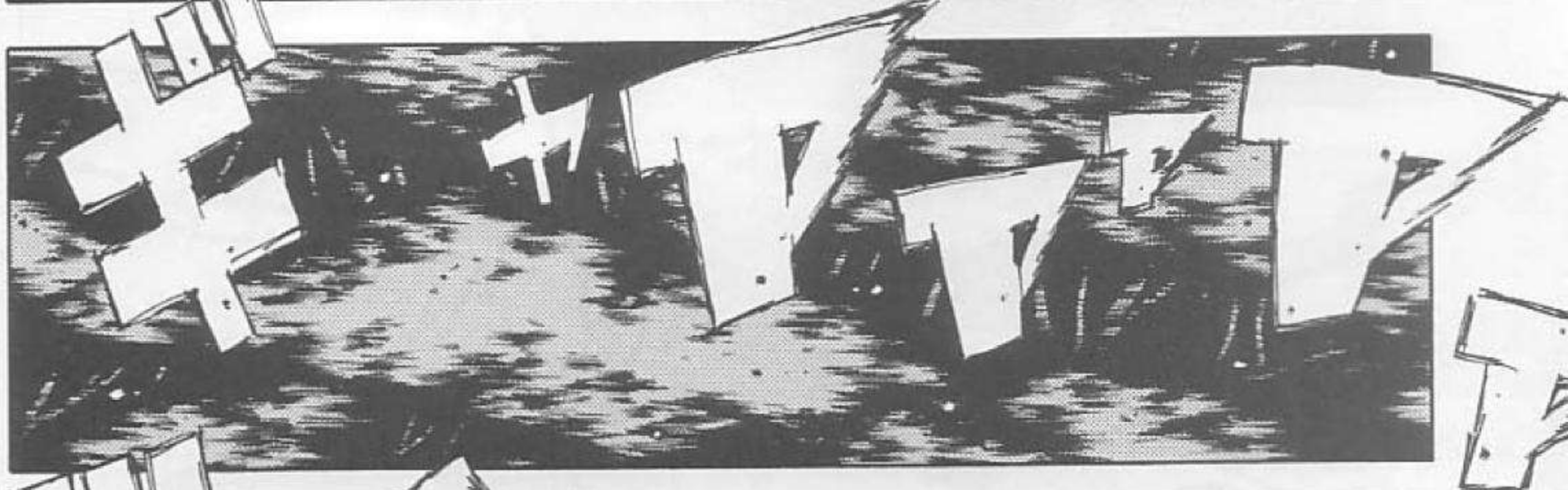
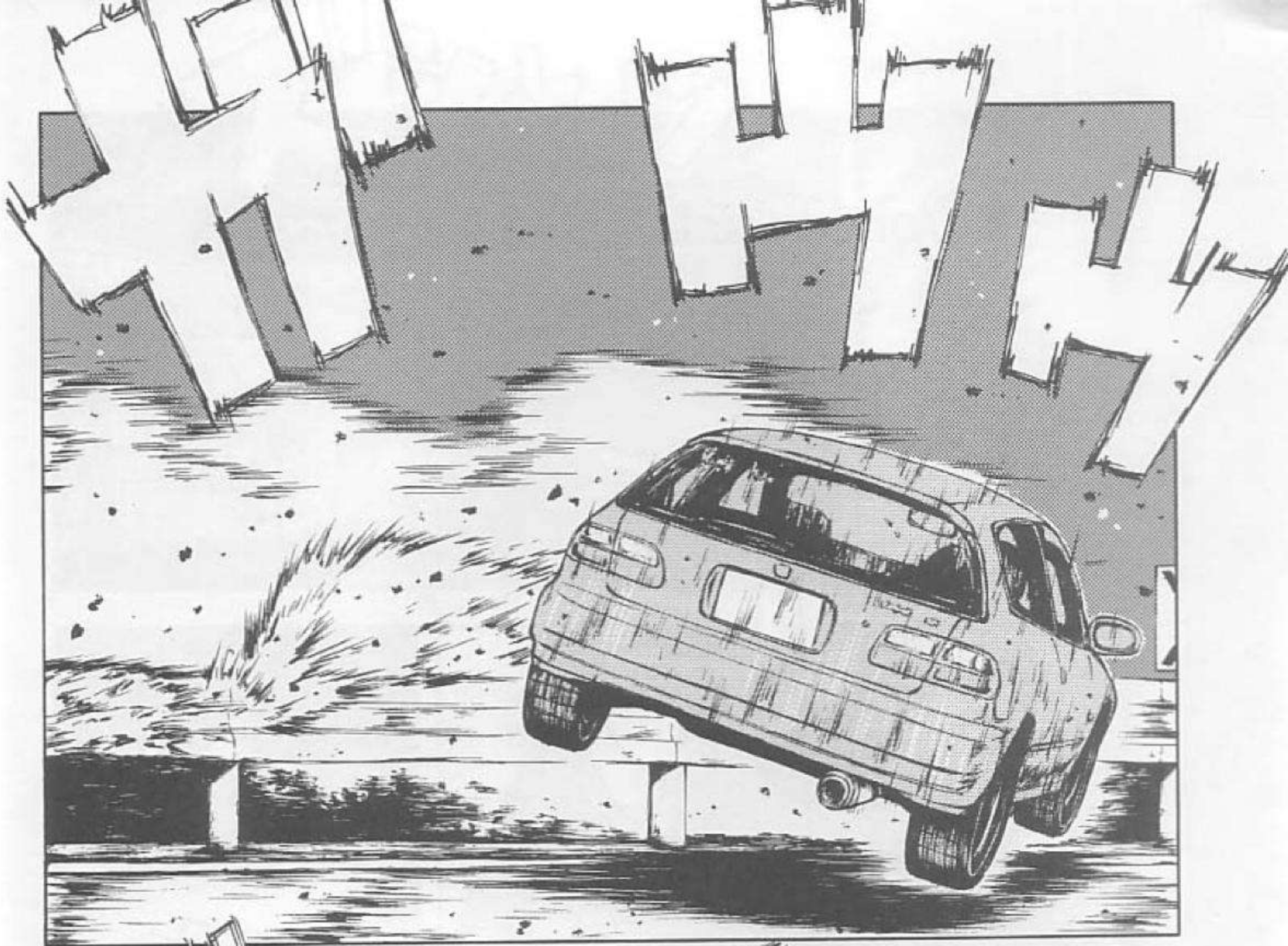
はずされた!!

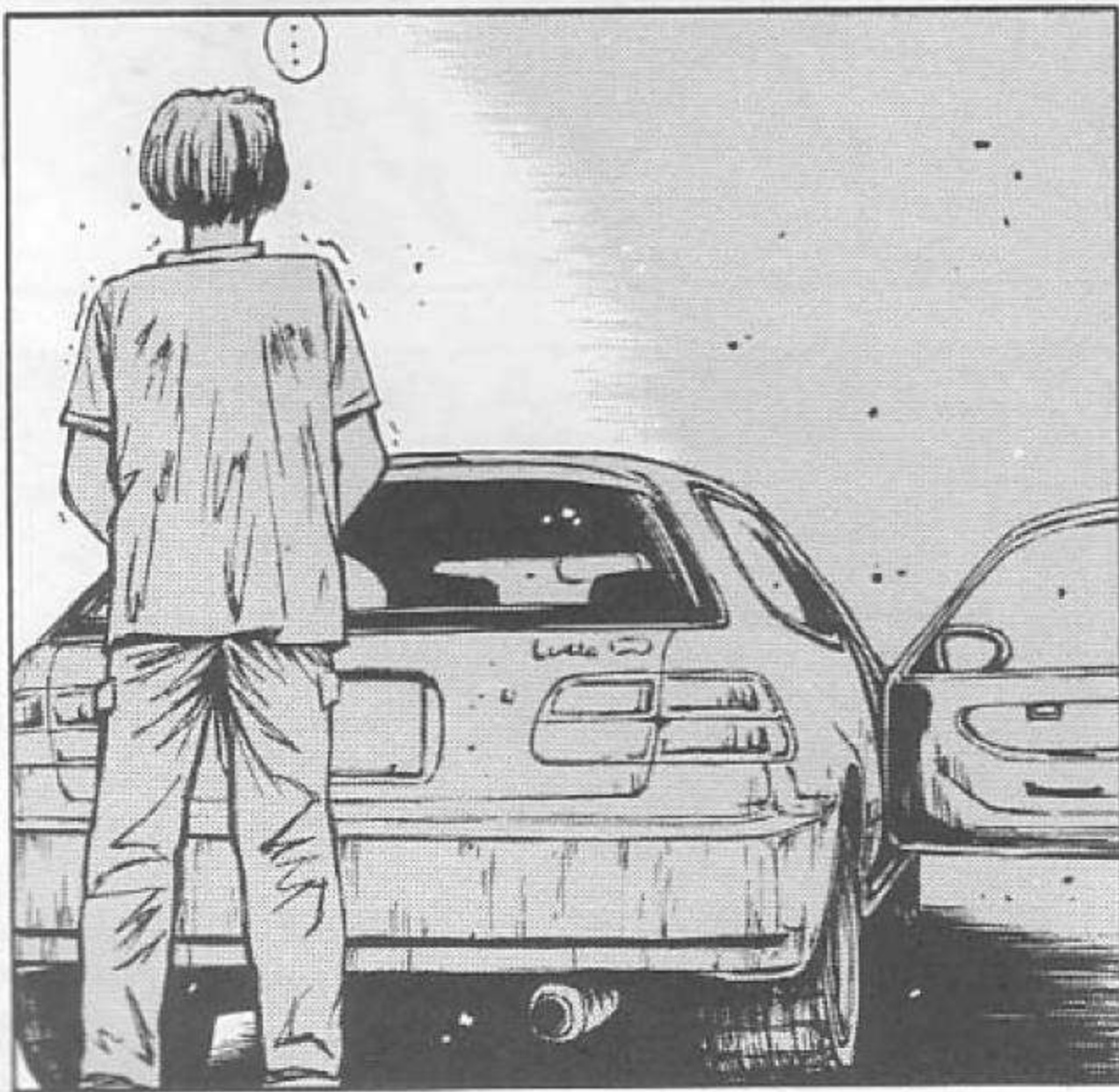
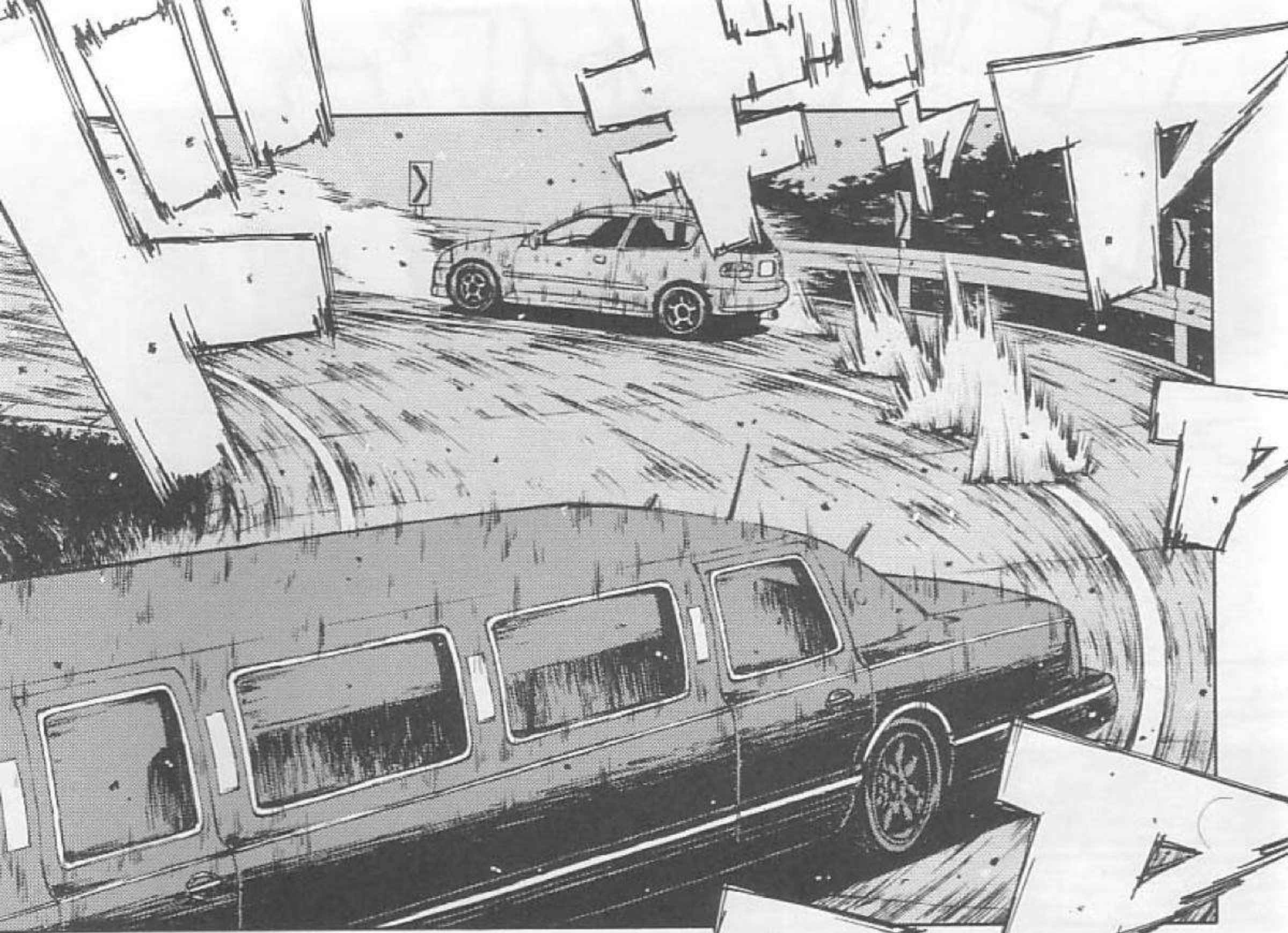
あれだけの  
デカかったのに!!

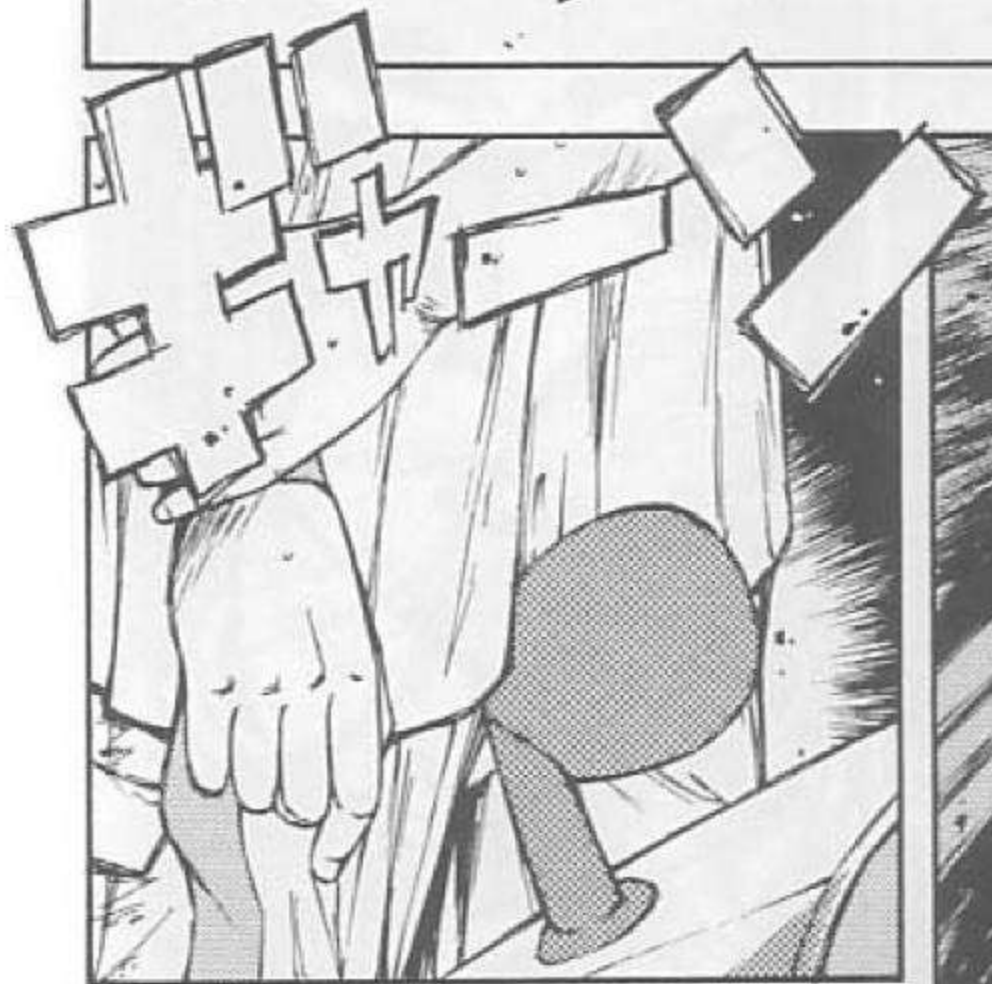
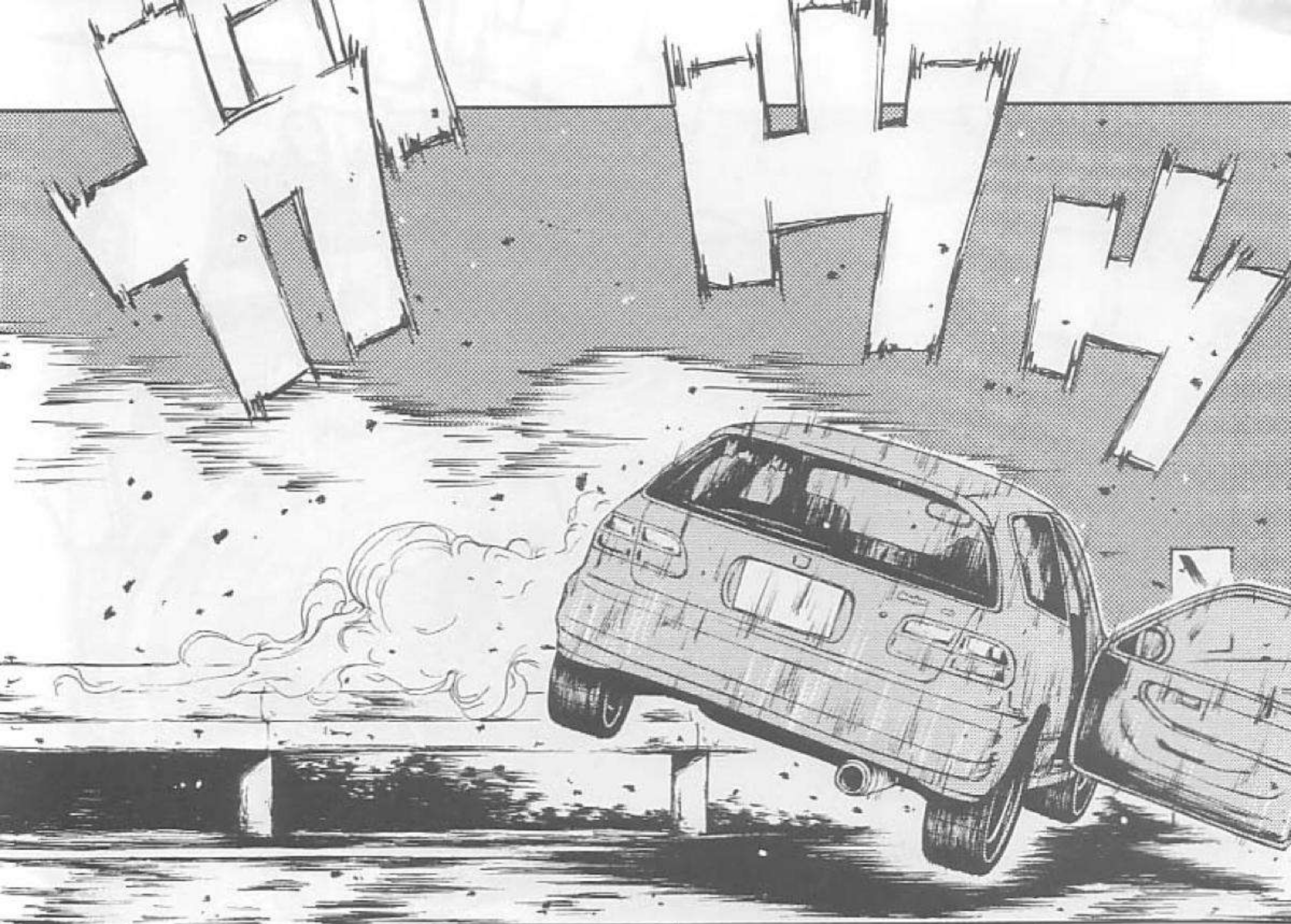
▶ Vol.14 そして作者がただボケる

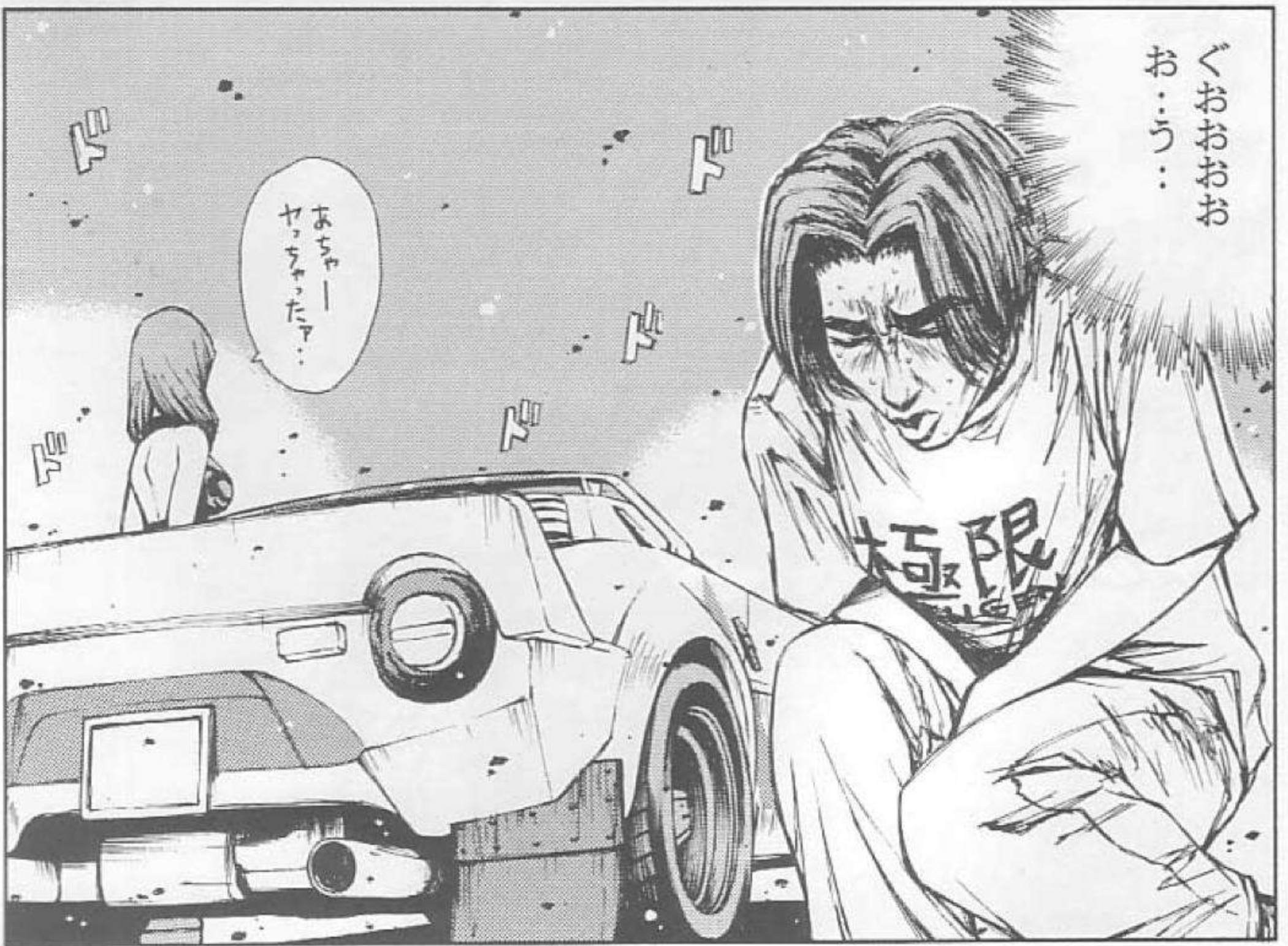


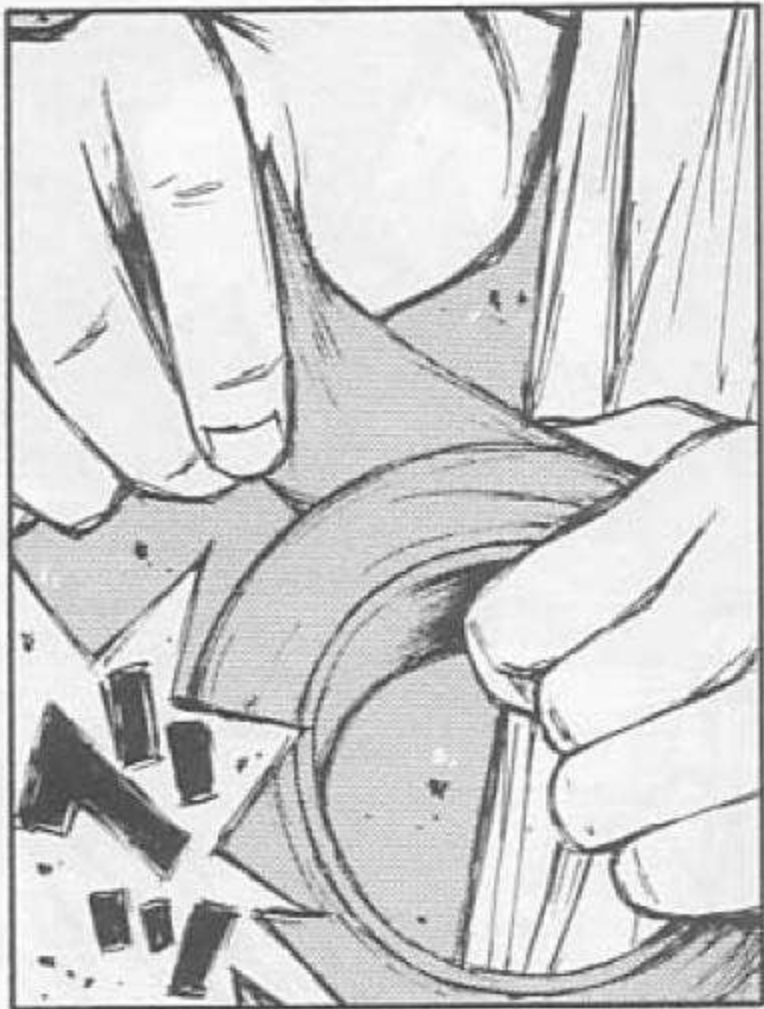












夕呼は気付いていた：  
背後でおこった大きな  
気配の変化に：

ジリジリと間をつめる  
慎吾に対し  
飽くまで平静を装う夕呼  
二人の集中力が高まる！！

一触即発の中  
互いの読みが  
ある一点で交差：

動く!!

まるで  
ジャッキー映画の  
ワンシーン!

キ  
エ  
エ

加速し続ける  
壮絶バトル!!

2体はもつれたまま  
タイトでツイステイな  
最終セクシオンへと  
突入していった!!

コ  
ー

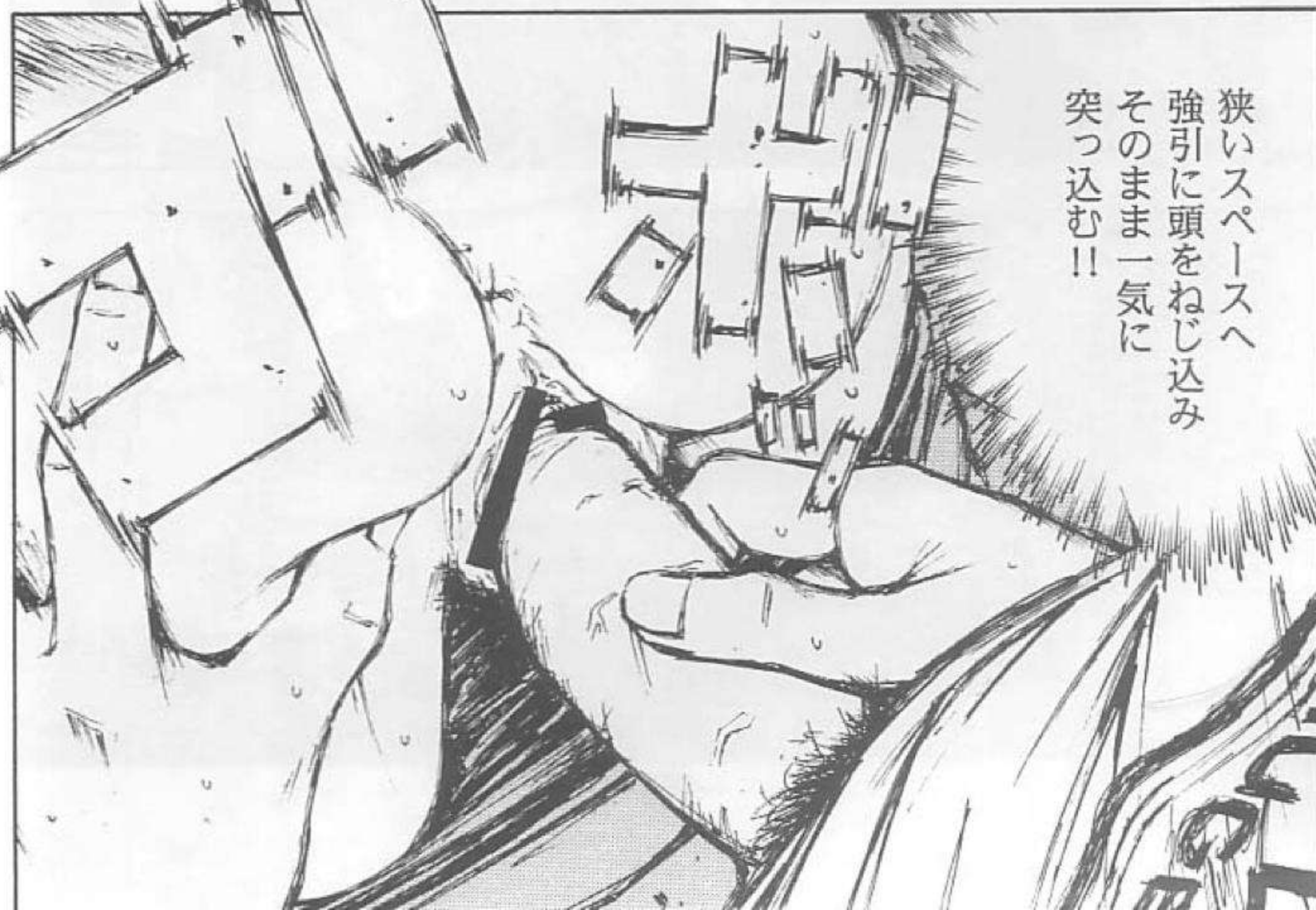
オ



慎吾もそれを見逃さなかった



突然起こった  
体調の変化に  
夕呼が一瞬怯む



狭いスペースへ  
強引に頭をねじ込み  
そのまま一気に  
突っ込む!!

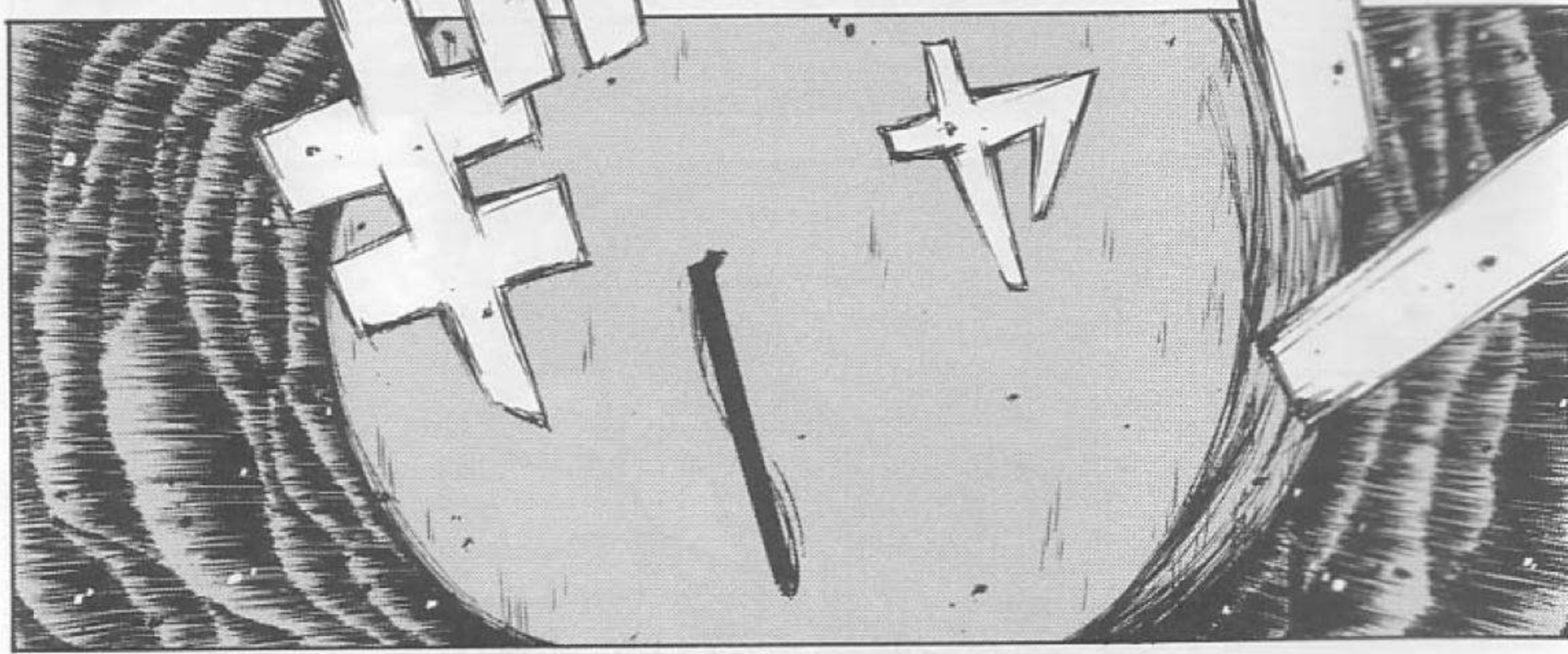
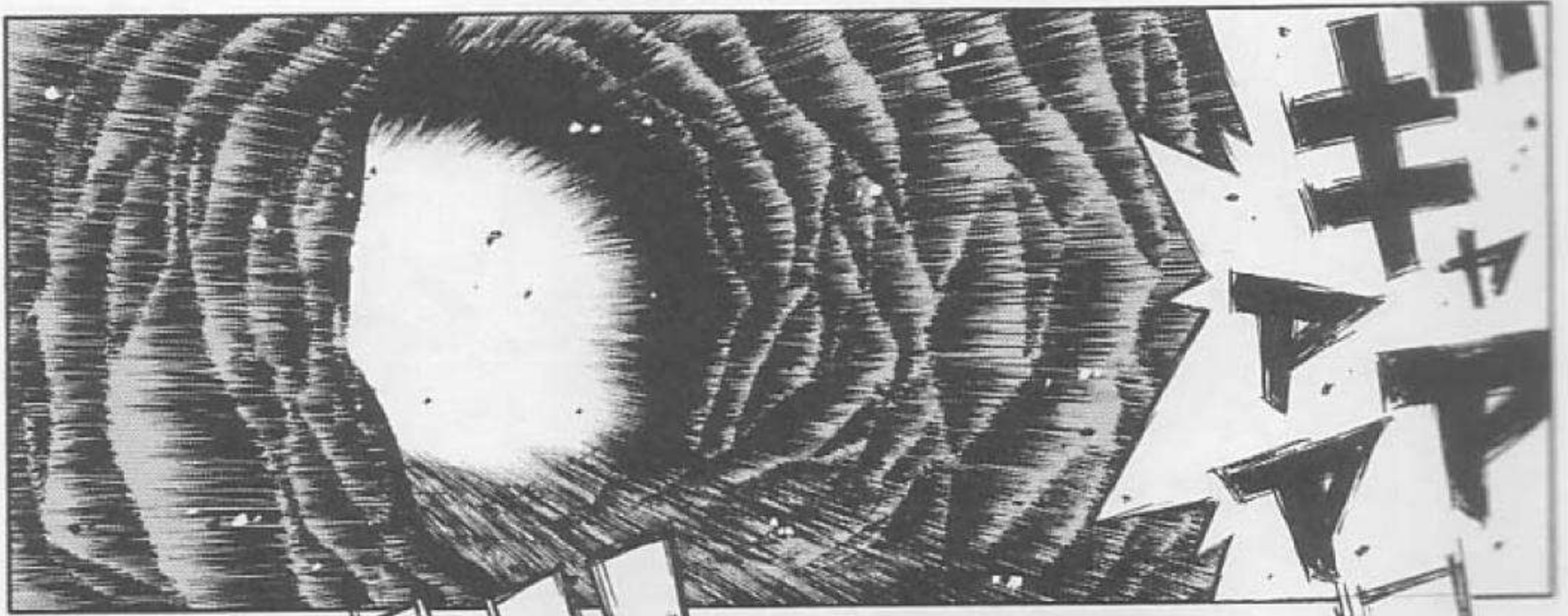


ストイックに  
且つアグレッシブに  
バックから抜きに行く  
慎吾

こんなにすんなり  
プチ込めるとはなつ

マン汁が  
タレてたんじゃ  
ねえのか!







浅い左コーナーへむけての  
減速を終えた瞬間  
慎吾は戦慄した

絶望的な戦況を  
自覚したのである



車との間に出来た  
わずかなラインをフルに使い  
腰をスライドさせる夕呼：



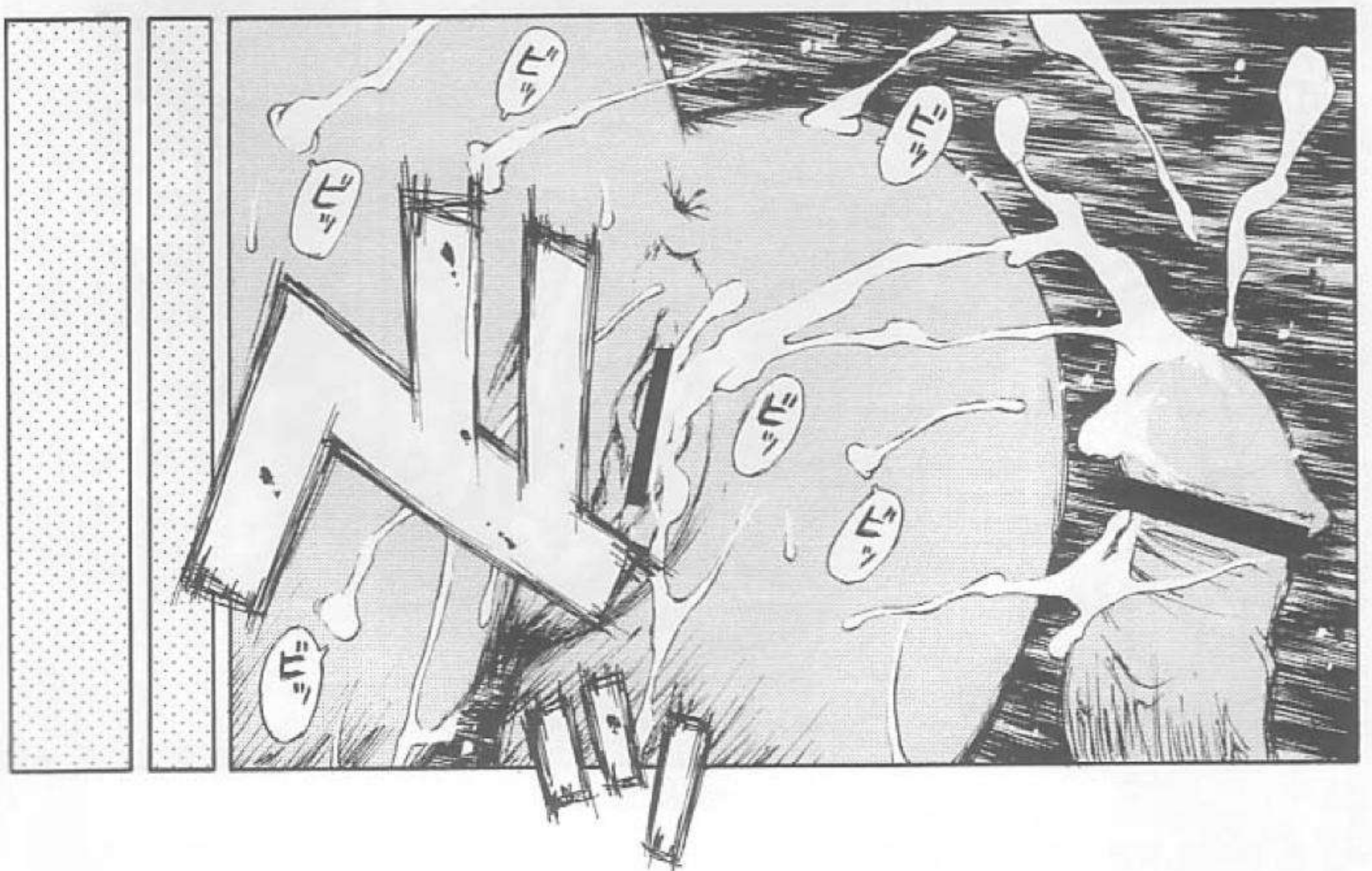
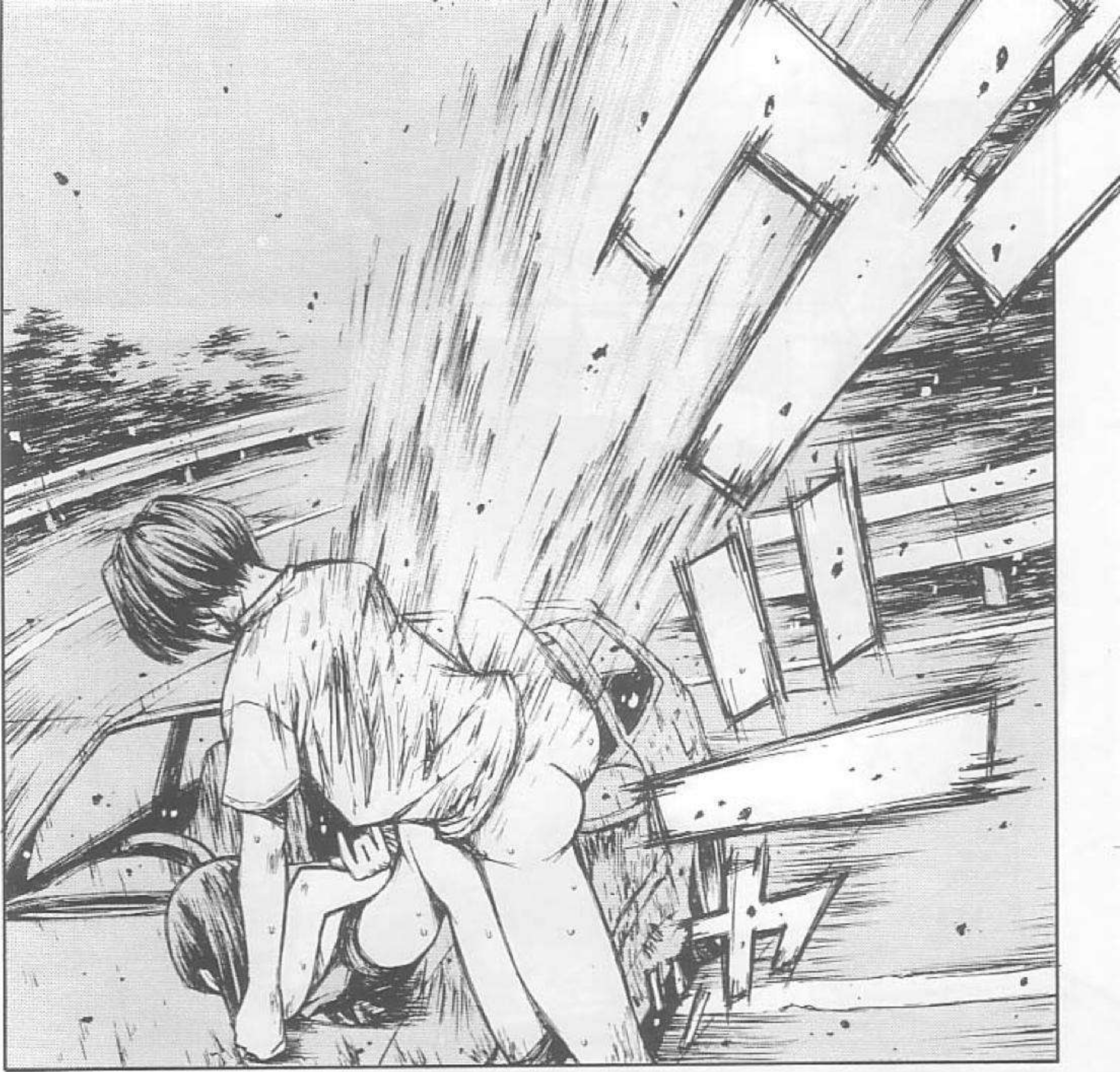
完全にリズムを  
崩された慎吾は  
オーバースピードで  
コーナーへ進入して  
しまっていた：！！

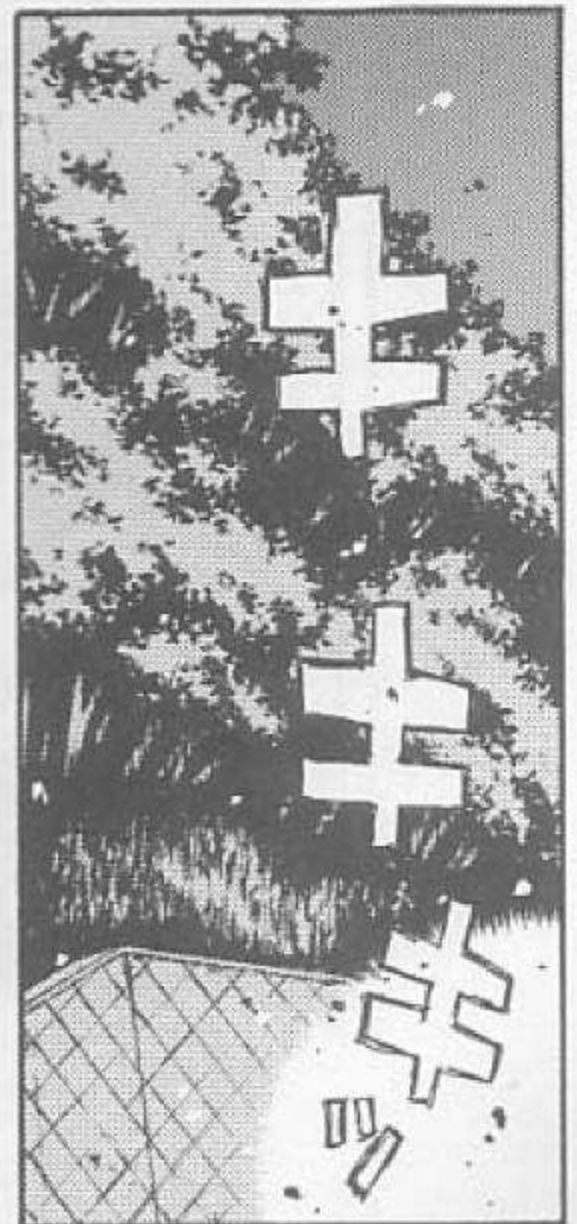


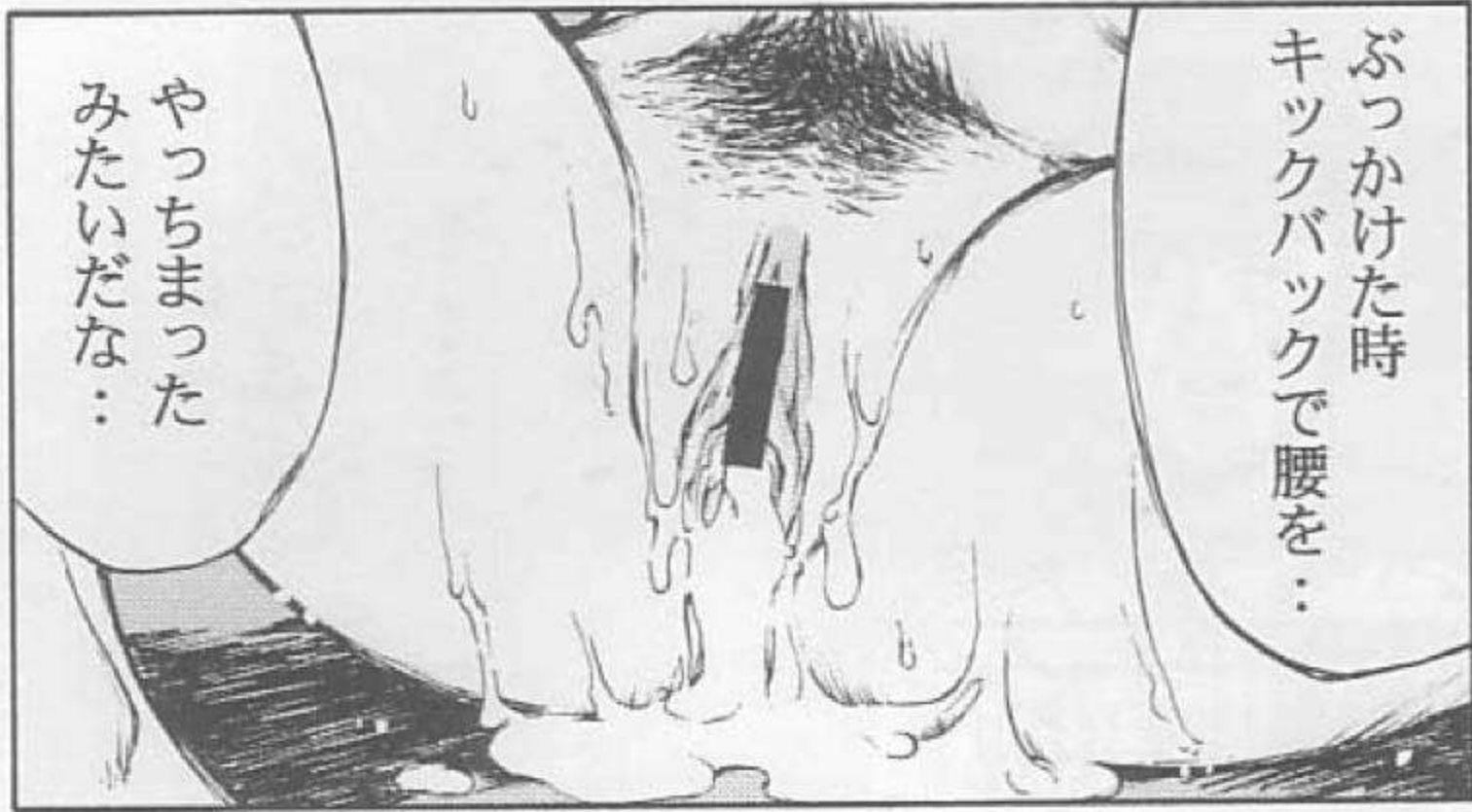
狂ったように加速していく  
夕呼のグライダー！！



その直後！！









遠慮すんなって  
盛った時は  
お互いさまだろ

オレら地元だから  
救急病院知ってんだ

こいつも71朝方  
1トプレイしてきた。



ふふっ…  
イイわよ!!

みんな一度に  
相手してあげる!!











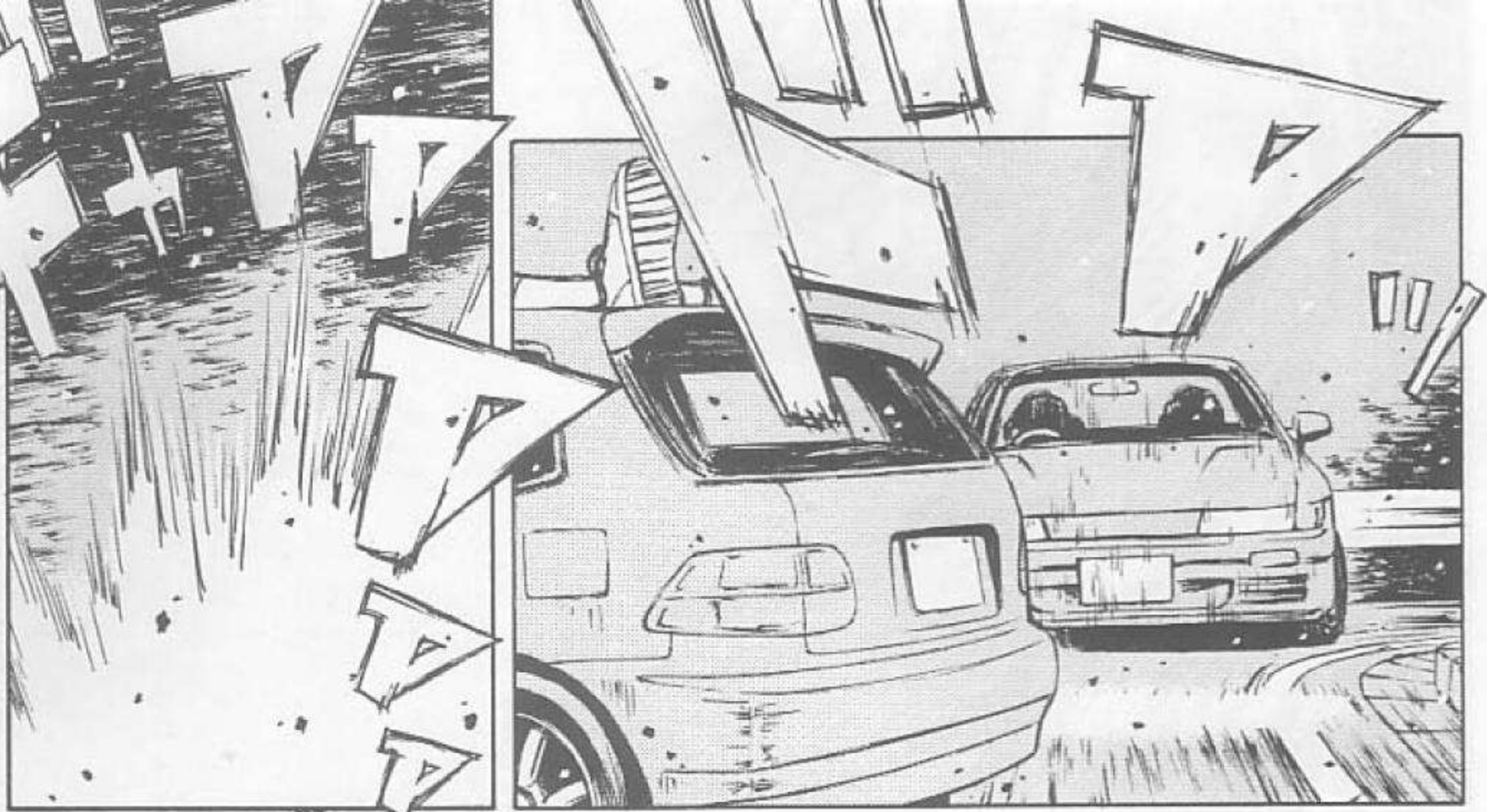
いいわっ!!

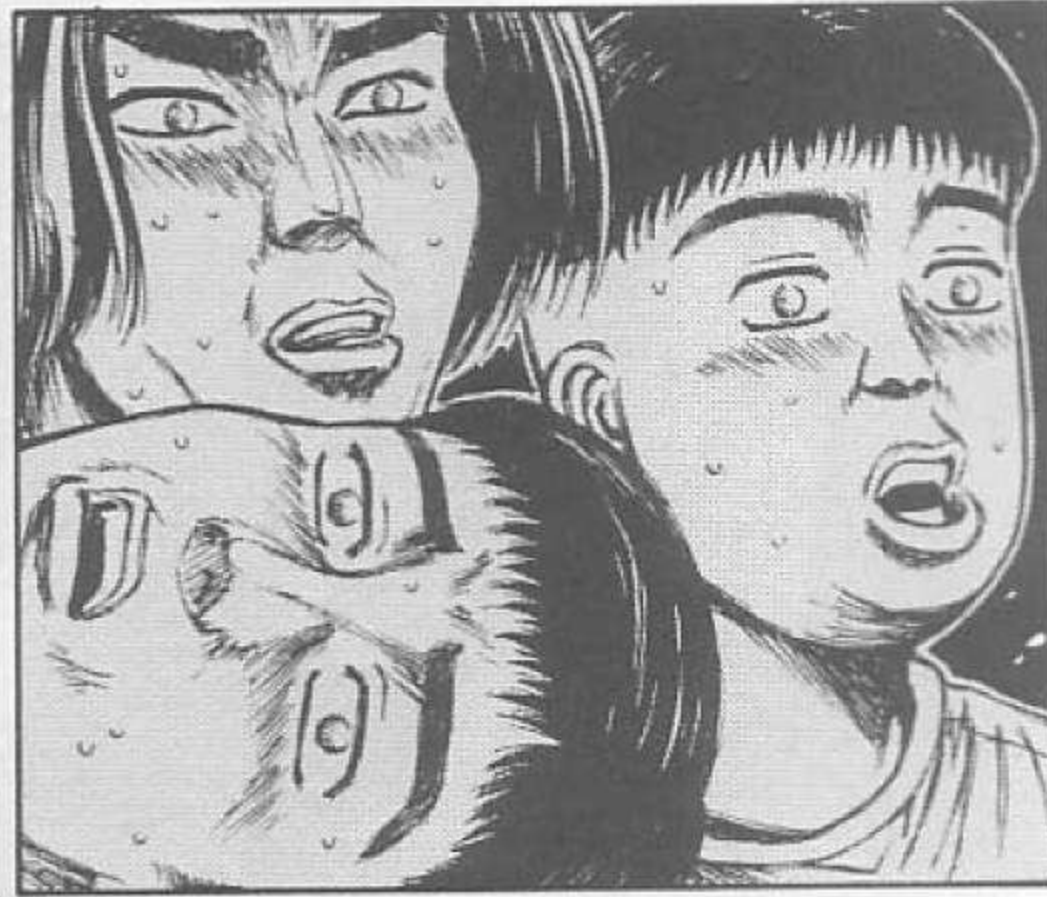


これよ…  
この感じ!!



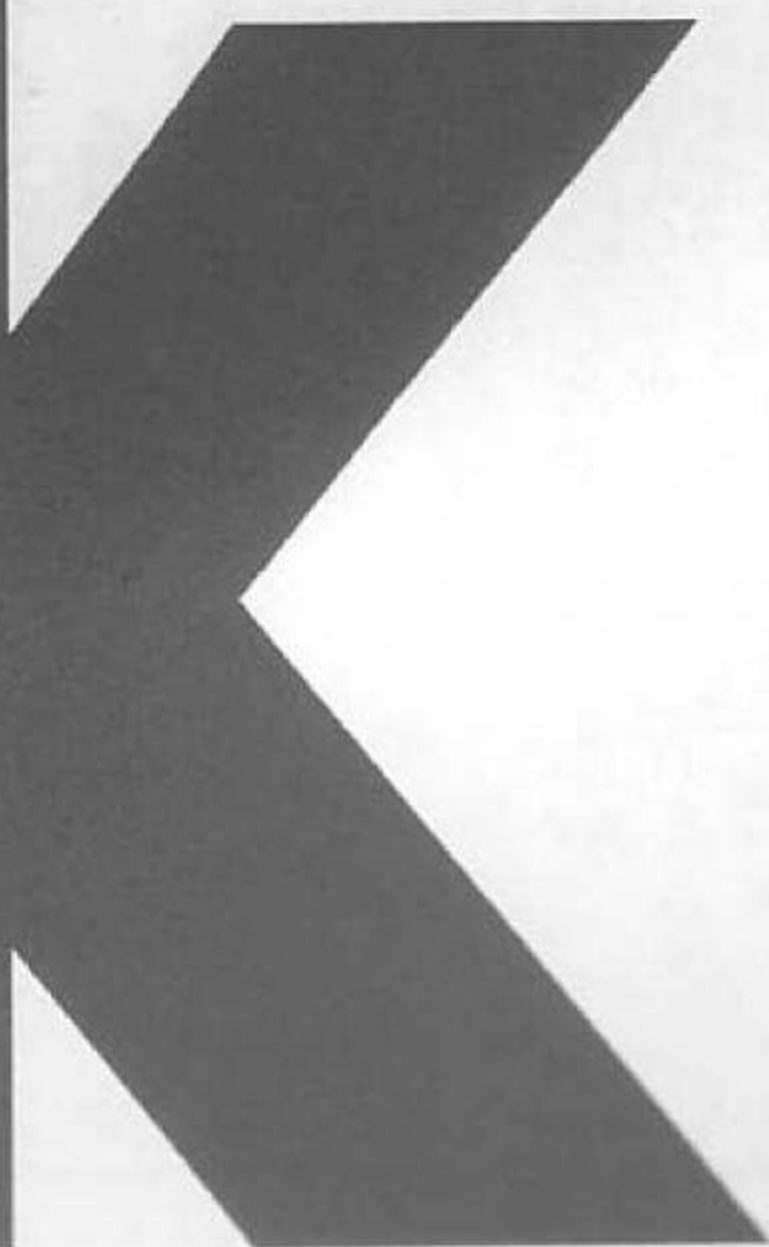
全身の血が沸騰したような  
このハイテンション!!  
これこそバトルよ!!  
トコトンつつ込んでエー!!





**INITIAL**

**Warabi Yuuzou**

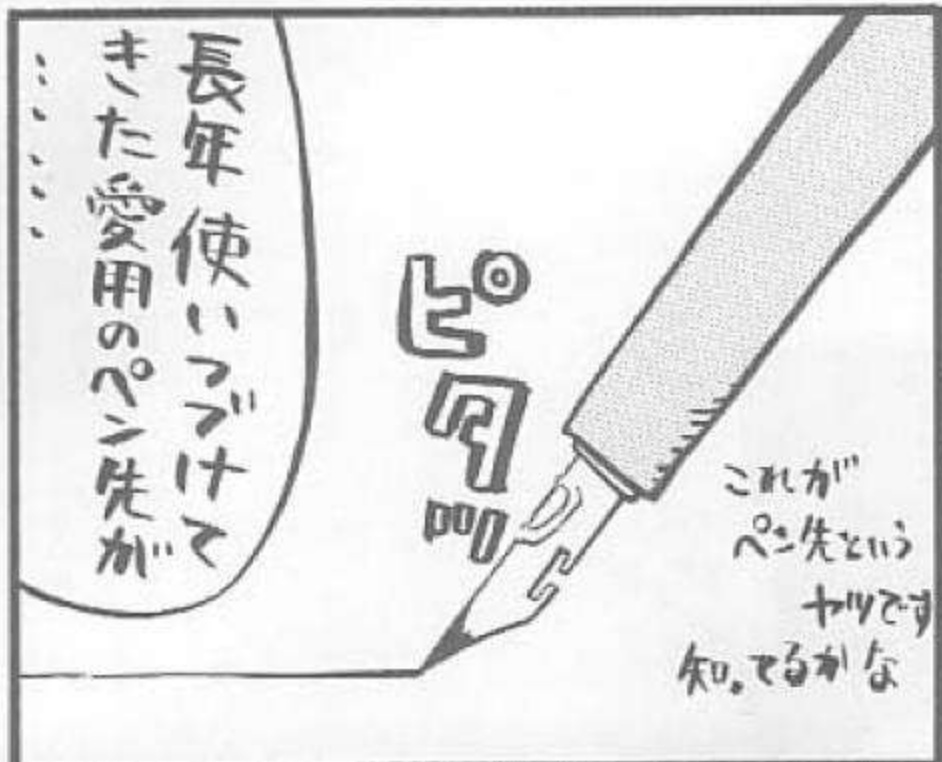




まことしやがはなし。

しかし当然  
副作用も...





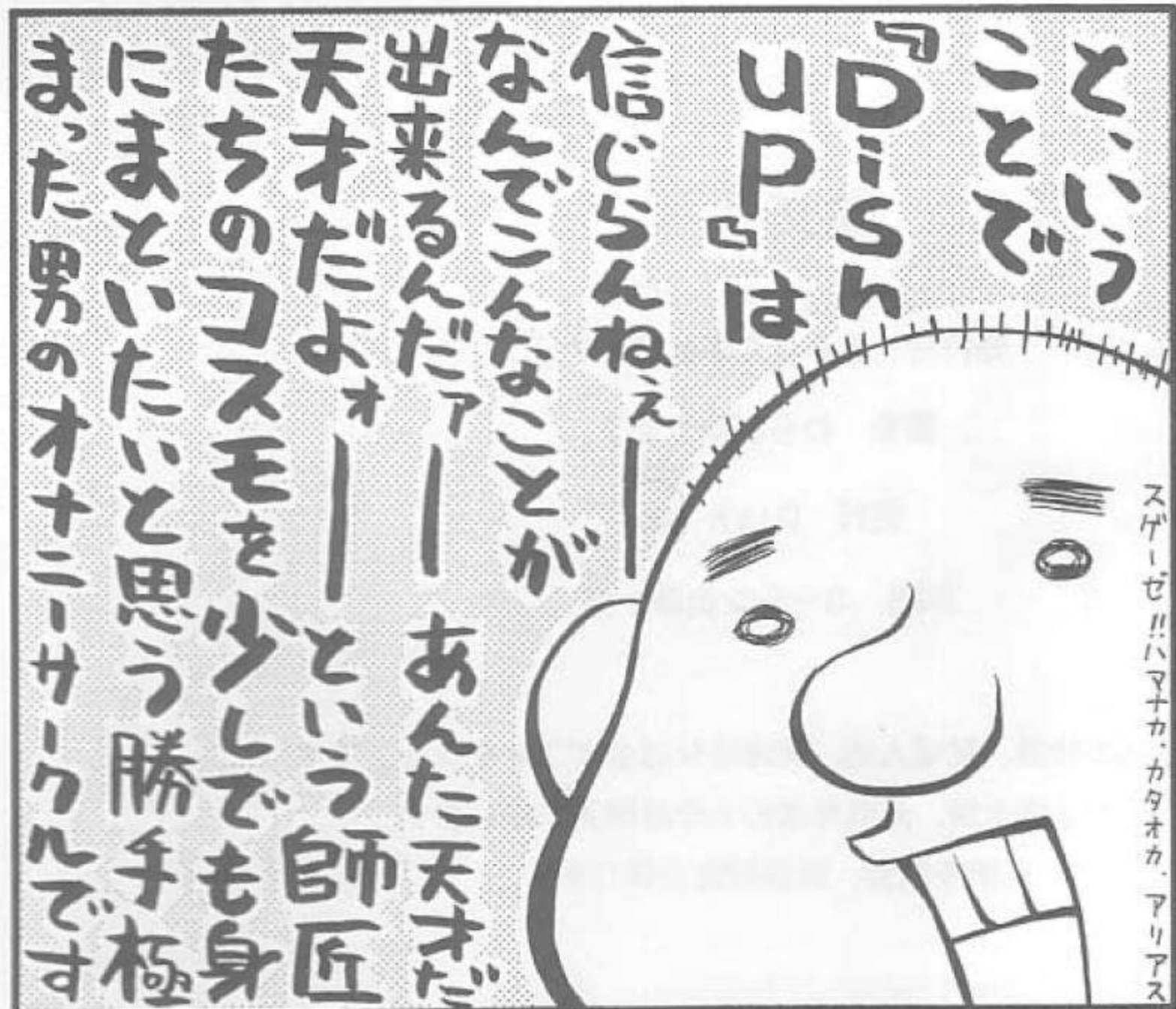
※理由になんねー。しかも 特殊なペンじゃねえし!!  
手にほייםし!!



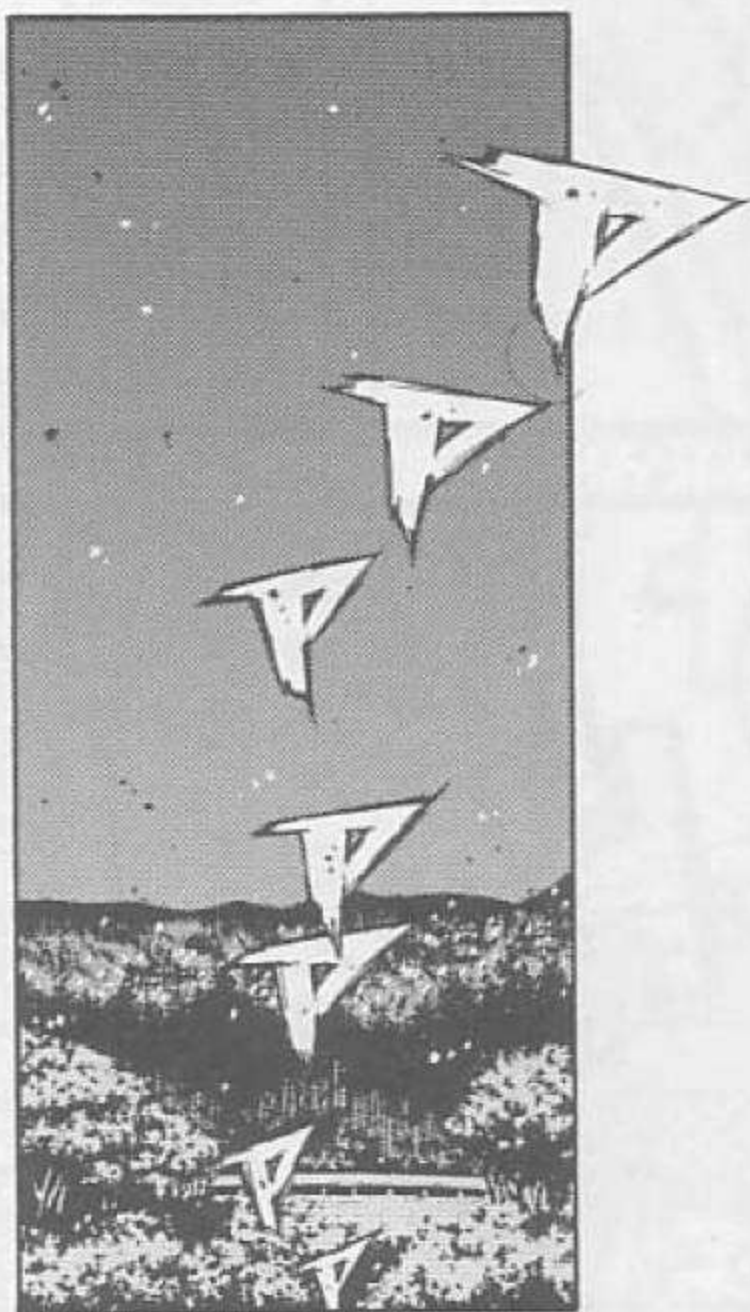
※わかってはじめてんだろ!!



※いまさか何言ってるか!!







## 頭文字 K

発行日 2003年8月17日

著者 わらびゆうぞう

発行 Dish up

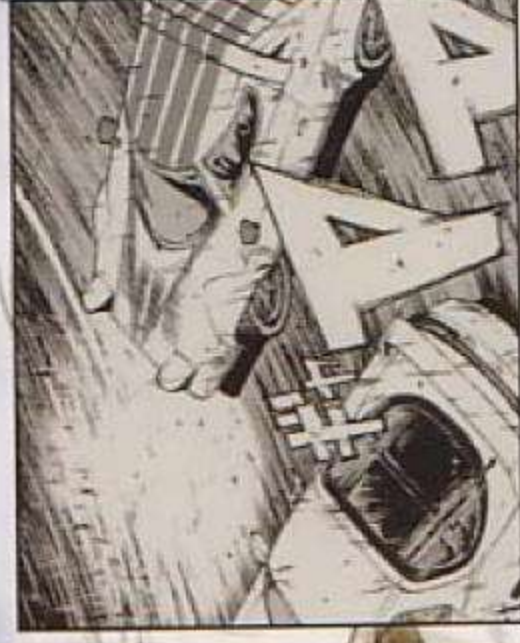
印刷 コーシン出版 様

※本作品の物語、登場人物、登場団体は全てフィクションです。

※18歳未満、未成年者の本作品購入を禁じます。

※無断複製、無断転載を禁じます。

この同人誌は某ゲームをベースとして  
某コミックに登場する架空のクルマと、  
バトルする仕様となっています



校庭最速伝説  
イニシャル

# 競女堂

香月夕呼

ランチアストラトス

★イラストと作品内容とは異なる箇所があります。